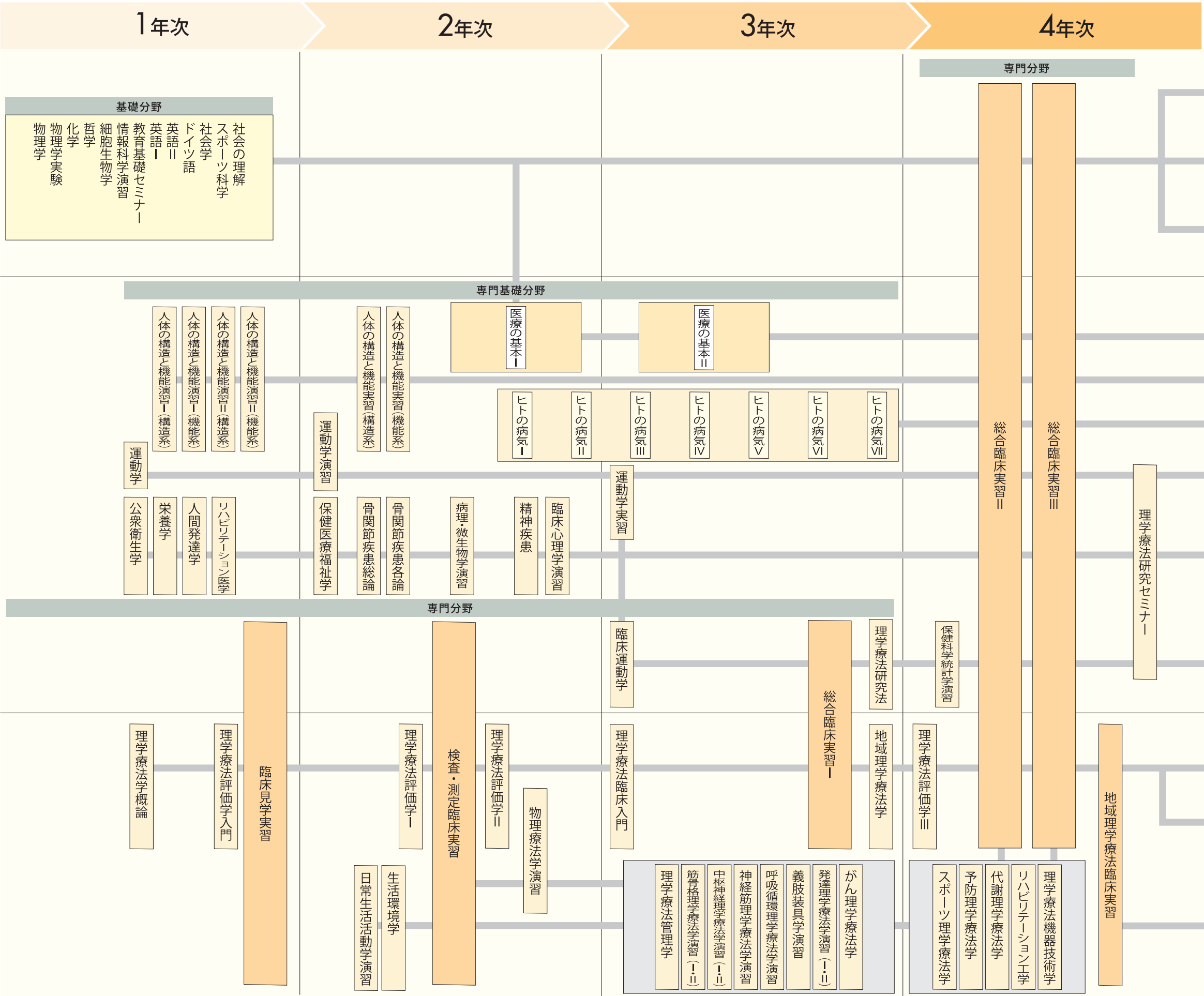




ディプロマ・ポリシー	
理学療法学科	保健医療学部
高い倫理観 ②医療における理学療法の役割、とくにその倫理的側面を理解し行動できる。	①人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。
豊かな人間性 ①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。	
高い倫理観／豊かな人間性 ③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、患者さんを思いやり、病める人の視点で考える態度をもち、個別性を重視した理学療法を行うことができる。	②保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。
国際水準の知識と技術 ⑤多様な臨床現場で実践可能な基本的な理学療法技術を身につける。	
問題解決能力と探究心 ④患者さんの身体的、心理的問題を解決するために、医学的知識を活用し、科学的根拠をもった適切な判断ができる。 ⑦理学療法の実践の中から理学療法研究の課題を発見し、それを発展させることができる。	③協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全に つねに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。
内省(自らの能力の限界を知る)／生涯学習 ⑩常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。	
協調性と協力 ⑥チーム医療の中で調整・連携の役割をはたすための適切なコミュニケーション能力を身につける。	
医療安全 ⑧医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。	
地域医療への貢献 ⑨保健・福祉・医療チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。	

【令和7年度 理学療法学科3年次 時間割表】

<前期>

*：選択科目

時限	月曜日 [川角]	火曜日 [川角]	水曜日 [川角]	木曜日 [川角]	金曜日 [川角]	土曜日 [日高]
1 9:00 ～ 10:30	医療の基本Ⅱ (辻)	神経筋理学療法学演習 (小関)	筋骨格理学療法学演習Ⅰ (赤坂)	中枢神経理学療法学演習Ⅰ (高倉)		医療の基本Ⅱ (辻) 看3・検3・工3・理3合同
2 10:40 ～ 12:10					がん理学療法学 (高倉)	
3 13:10 ～ 14:40	呼吸循環理学療法学演習 (新井)	臨床運動学 (澤田)	運動学実習 (澤田)	発達理学療法学演習Ⅰ (金井)	理学療法研究法 (高倉)	
4 14:50 ～ 16:20				理学療法臨床入門 (高倉)	理学療法臨床入門 (高倉)	
5 16:30 ～ 18:00				理学療法臨床入門 (高倉)	理学療法臨床入門 (高倉)	

<後期>

時限	月曜日 [川角]	火曜日 [川角]	水曜日 [川角]	木曜日 [川角]	金曜日 [川角]	土曜日
1 9:00 ～ 10:30		義肢装具学演習 (小関)	筋骨格理学療法学演習Ⅱ (赤坂)	中枢神経理学療法学演習Ⅱ (師岡)		
2 10:40 ～ 12:10					理学療法管理学 (國澤)	
3 13:10 ～ 14:40	中枢神経理学療法学演習Ⅱ (師岡)	発達理学療法学演習Ⅱ* (金井)		地域理学療法学 (新井)	ヒトの病気Ⅶ (茅野)	
4 14:50 ～ 16:20				ヒトの病気Ⅶ (茅野)		
5 16:30 ～ 18:00						

・総合臨床実習Ⅰ(國澤)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<専門基礎分野>

—人体の構造と機能及び心身の発達—

運動学実習(澤田 豊)	9
-------------------	---

—疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進—

ヒトの病気Ⅶ(茅野 秀一)	15
医療の基本Ⅱ(医療安全管理とチーム医療)(辻 美隆)	19

<専門分野>

—基礎理学療法学—

理学療法研究法(高倉 保幸)	25
臨床運動学(澤田 豊)	29

理学療法管理学(國澤 洋介)	33
----------------------	----

—理学療法治療学—

筋骨格理学療法学演習Ⅰ(赤坂 清和)	36
神経筋理学療法学演習(小関 要作)	41
中枢神経理学療法学演習Ⅰ(高倉 保幸)	46
呼吸循環理学療法学演習(新井 智之)	51
理学療法臨床入門(高倉 保幸)	58
義肢装具学演習(小関 要作)	63
筋骨格理学療法学演習Ⅱ(赤坂 清和)	69
中枢神経理学療法学演習Ⅱ(師岡 祐輔)	74
がん理学療法学(高倉 保幸)	79
発達理学療法学演習Ⅰ(金井 欣秀)	82
発達理学療法学演習Ⅱ(金井 欣秀)	86

—地域理学療法学—

地域理学療法学(新井 智之)	90
----------------------	----

—臨床実習—

総合臨床実習Ⅰ(國澤 洋介)	93
----------------------	----

講義名	運動学実習		
(副題)	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 澤田 豊	理学療法学科教員

担当教員	澤田 豊・新井 智之・飛田 和基・金井 欣秀・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	理学療法は身体運動に関する観察・検査測定の結果を評価し統合と解釈を行った後、問題となるポイントに対し介入方法を立案し実施する医療行為である。本科目ではヒトの身体運動を理解するため、運動負荷試験、筋電図、運動学習、筋力測定、呼吸循環反応などの5つの課題を取り上げる。実習全体の目的は実施した運動学的課題について実施し、身体の反応について解釈し、これまで身につけた知識や文献を引用することで検証・考察することである。 そのため、1)実際の計測過程を経験すること。2)生体から得られた結果についてまとめ他者に報告するための資料を作成し報告すること。3)報告には、これまで身につけた知識、書籍や文献を引用した考察をすること。4)報告された内容について意見交換すること。これらを通じてデータや計測結果が、どのような過程を経て生まれるかを追体験することを目的とする。 以上のように、これから行う実習では単に知識や技術を記憶し、理解・習得するための場だけではなく、科学的に物事に対するとはどういうことなのか、自ら考え体験する場である。そのため、十分な予習と事後学習としてのデータ整理やレポート課題（復習）を要求する。
学習の具体的な目標	授業形態 実習とグループワークを通して下記の学習目標を習得する。 課題A：運動負荷試験（担当：飛田、新井） 1) 運動負荷試験の種類について説明できる。 2) 自転車エルゴメーターによるRamp負荷試験について説明できる。 3) 6分間歩行テストを実施でき、その意義と方法について説明できる。 4) 運動中の呼吸循環動態の変化を測定し、嫌気性代謝閾値について説明できる。 5) 運動負荷試験の結果を解釈し、運動処方を行うことができる。 課題B：神経筋機能（担当：澤田） 1) 筋電図の基礎と臨床応用について説明できる。 2) 表面筋電図の測定とデータの解釈について説明出来る。 3) 運動における筋活動と筋疲労について表面筋電図を用いて説明出来る。 課題C：運動学習（担当：金井） 1) 運動学習の理論について説明できる。 2) その理論を用いた実験を実施できる。 3) 実験で得られたデータについて考察できる。 4) 実験結果と考察を発表して説明できる。 課題D：筋力測定（担当：服部） 1) 筋力測定を行う手段を複数挙げる。 2) 場面に応じて最適な筋力測定の手段を選択できる。 3) HHDを用いて筋力を評価できる。 4) 膝伸展筋力の臨床的な応用を考察できる。

課題E：呼吸循環反応に関するフィジカルアセスメント（担当：甘利、新井）
 1) 1 2誘導心電図検査を実施し、その結果を説明できる。
 2) 呼吸機能検査（スパイロメトリー）を実施し、その結果を説明できる。
 3) 体表から肺と心臓の位置を把握し、心音肺音の聴診を実施できる。
 4) 視診、打診、バイタルサイン測定が実施できる。
 5) 検査結果を元に、運動による変化および呼吸循環障害の病態を説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション1(第1クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション1(第2クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション1(第3クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		

テーマ	ローテーション2(第1クール)			
授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
8	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション2(第2クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション2(第3クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション3(第1クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

15	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション3(第2クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション3(第3クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション4(第1クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション4(第2クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	〃		

担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
23	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション4(第3クール)		
	授業内容	課題A, 2課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション5(第1クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション5(第2クール)		
	授業内容	課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・301・運動療法実習室2・動作解析室・ADL実習室		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	ローテーション5(第3クール)		
	授業内容			

課題A, 課題B, 課題C, 課題D, 課題E ・各運動学実習課題を実施し計測や測定を行う。 ・課題の実施によって得られた結果を用いて解釈し考察する。 ・グループディスカッションを通して自身の結果の解釈や考察について報告し、意見交換を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)				
30	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	4限
	講義室	〃		
	担当者	澤田・新井・金井・飛田・服部・甘利		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
評価方法		各課題に対するレポート提出とその内容、実習や授業への取り組み態度を総合的に評価する。		
教科書		各課題ブースにて資料を配布する。		
参考書		各課題ブースにて指示する。		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 澤田豊：月～水、金の昼休み。 また、他の時間帯でも可能であれば適宜対応する。事前にメールで相談すること。 E-mail:ysawada@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		授業はグループワークによる実習と演習が中心となります。授業前日には実習予定に該当する領域や内容について予習し、教科書等で実習内容の意味を理解しておくこと。また、実習後にはレポート作成のための文献検索や書籍での確認を怠らないこと。(予習時間30分、復習時間30分) レポートは実習終了後、各ブースの担当教員が指定する期日までに提出すること。 なお、補習対象者には別途に連絡をする。 ○グループ分けは別途周知する。 ○各グループごとに実習前に予習すべき事項、服装、準備等についてブース担当教員に確認すること。 ○実習の準備、終了後の整頓は教員の指示を得ながら学生が自主的、積極的に行うこと。		

講義名	ヒトの病気Ⅶ		
(副題)	専門基礎分野（疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	4限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 茅野 秀一	臨床検査学科教員

担当教員	茅野 秀一・加藤木利行・辻 美隆・池田 将樹・嶋崎 晴雄・酒井 純・吉川 祐司・北原 智康・椎名 雄樹
科目の目標	将来、医療人として患者さんや家族のケアにあたるため、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科疾患、膠原病・リウマチ性疾患、中毒、生活習慣と合併症、特殊な感染症および救急疾患に関する基本的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	【眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科疾患】 1) 日常よく診る眼科疾患の診断と治療について概説できる。 2) 日常よく診る皮膚科疾患の診断と治療について概説できる。 3) 日常よく診る耳鼻咽喉科疾患の診断と治療について概説できる。 【膠原病・リウマチ性疾患】 1) 膠原病・リウマチ性疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 2) 代表的な膠原病・リウマチ性疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な膠原病・リウマチ性疾患の治療と予後について概説できる。 【特殊な感染症】 1) 性感染症、新興・再興感染症、輸入感染症、人畜共通感染症の現況および予防と治療について概説できる。 2) 院内感染症の現況および予防と治療について概説できる。 【救急疾患・中毒性疾患】 1) 救急疾患の基本的な治療方針について概説できる。 2) 外傷と熱傷の診断と治療について概説できる。 3) 中毒性疾患の分類と症候について概説できる。 4) 食中毒の診断と治療について概説できる。 5) 薬物中毒の診断と治療について説明できる。 【生活習慣と合併症】 1) 生活習慣と、糖尿病や高血圧の関係を概説できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	酒井		
	テーマ	特殊な感染症1：性感染症、新興・再興感染症など		

授業内容		1. 性感染症について簡単に説明できる。 2. 新興・再興感染症について簡単に説明できる。 3. 輸入感染症について簡単に説明できる。 4. 人獣共通感染症の診断・治療・予防について簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	酒井		
	テーマ	特殊な感染症2：院内感染症その他		
	授業内容	1. 院内感染症について簡単に説明できる。 2. 代表的な院内感染症とその対策について概要を説明できる。 3. 菌交代現象および薬剤耐性菌について簡単に説明できる。 4. 日和見感染の病態とその病因微生物を列挙し、簡単に説明できる。 5. 標準予防策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	茅野		
	テーマ	生活習慣と合併症		
	授業内容	1. 生活習慣と高血圧について説明できる。 2. 生活習慣病を放置した場合の合併症について簡単に説明できる。 3. 生活習慣の改善と予防医学について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	中毒性疾患：食中毒その他		
	授業内容	1. 食中毒の原因を列挙できる。 2. 細菌性食中毒の診断・治療・予防について説明できる。 3. 薬物中毒の原因を列挙できる。 4. 薬物中毒の診断・治療について説明できる。 5. 化学物質による中毒を列挙できる。 6. 化学物質(有機溶剤、金属、有毒ガスなど)による中毒の診断・治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	3限
	講義室	202		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病1：膠原病の診断と治療、SLE		
	授業内容	1. 自己免疫疾患の病態について簡単に説明できる。 2. 膠原病の診断に必要とされる代表的な検査法について概説できる。 3. 全身性エリテマトーデス(SLE)の病態と症候について説明できる。 4. SLEに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 5. SLEの治療について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	吉川		
	テーマ	眼科1：日常よく診る眼科疾患1		
	授業内容	1. 眼科という診療科の内容を確認する。 2. 眼球の構造と機能(近視、乱視の違いを理解する) 3. 簡単な外眼部疾患の理解(霰粒腫、麦粒腫、結膜炎など) 4. 白内障の理解 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	椎名		
	テーマ	皮膚科1：日常よく診る皮膚科疾患1		
	授業内容			

1. 皮膚の構造と機能を説明できる。
 2. 代表的な皮疹を説明できる。
 3. 頻度の高い皮膚疾患を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	3限
	講義室	202		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病2: SSc、MCTD、多発性筋炎/皮膚筋炎、ベーチェット病、SjS		
	授業内容	1. 全身性強皮症(SSc)の病態と症候について説明できる。 2. SScに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 3. SScの治療について概説できる。 4. 混合性結合組織病(MCTD)について簡単に説明できる。 5. 多発性筋炎/皮膚筋炎(PM/DM)の病態と症候について説明できる。 6. ベーチェット症候群、SjSについて簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	吉川		
	テーマ	眼科2: 日常よく診る眼科疾患		
	授業内容	21. 眼底疾患を通して全身疾患を知る。(糖尿病性網膜症を中心に) 2. 眼科の代表的な治療法(マイクロサージャリーの実際、レーザー治療) 3. 緑内障の理解 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	膠原病3: RA・リウマチ熱、PANその他		
	授業内容	1. 関節リウマチ(RA)の病態と症候について説明できる。 2. RAに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 3. RAの治療について概説できる。 4. リウマチ熱について簡単に説明できる。 5. 結節性多発動脈炎(PAN)の病態と症候について説明できる。 6. PANに特徴的な検査所見について簡単に説明できる。 7. PANの治療について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	椎名		
	テーマ	皮膚科2: 日常よく診る皮膚科疾患2		
	授業内容	1. 蕁麻疹と接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎の関係を説明できる。 2. アトピー性皮膚炎の治療・生活指導を説明できる。 3. 薬疹の成り立ちと対処法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	辻		
	テーマ	救急1: 救急のABC		
	授業内容	1. バイタルサインの確認法について説明できる。 2. 救急のABCについて説明できる。 3. 心肺蘇生法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	北原		
	テーマ	耳鼻科1: 日常よく診る耳鼻咽喉科疾患1		
	授業内容			

1. 耳の構造（外耳、中耳、内耳）について説明できる。 2. 耳の2大機能である聴覚機能、平衡機能について説明できる。 3. 聴覚機能と平衡機能の検査法の概要を説明できる。 4. 主な耳疾患の病態生理を述べ、診断と治療の概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）				
14	年月日（曜日）	令和 8年01月15日（木）	時限	4限
	講義室	202		
	担当者	辻		
	テーマ	救急2：外傷、熱傷その他		
	授業内容	1. 多発外傷患者への対応について概説できる。 2. 熱傷の重傷度分類を説明できる。 3. 熱傷の重傷度分類に応じた治療について説明できる。 4. 各種ショックの病態を列挙できる。 5. 各種ショックの初期治療について簡単に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 8年01月16日（金）	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	北原		
	テーマ	耳鼻科2：日常よく診る耳鼻咽喉科疾患2		
	授業内容	1. 鼻副鼻腔各部の名称を列挙できる。 2. 鼻腔の機能を説明できる。 3. 鼻副鼻腔の主要疾患の概要を説明できる。 4. 咽喉頭各部の名称を列挙できる。 5. 咽喉頭の機能を説明できる。 6. 咽喉頭の主要疾患の概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法		1. ヒトの病気Ⅶの試験は定期試験期間内に行う。（いずれも多肢選択問題） 2. 出席不良の場合には受験資格を失い、自動的に科目不合格となるので注意すること。 3. 定期試験不合格者には再試験期間中に再試験を行う。		
教科書		なるほどなっとく内科学 浅野嘉延 編 南山堂		
参考書		1. 臨床病態学3、北村聖編、ヌーヴェルヒロカワ 2. 内科学 第10版、朝倉書店		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【茅野秀一】 月曜日の17時から18時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 メールアドレス：hidekazu@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。		

講義名	医療の基本Ⅱ		
(副題)	専門基礎分野（疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 辻 美隆	共通教育部門教員

担当教員	辻 美隆・池田 将樹・是村 利幸・清水 夏生・甘利 貴志・茅野 秀一・田邊 一郎・嶋崎 晴雄・酒井 純・大野美佐子・三輪 泰之・梅澤 奈菜・森 茂久・石橋敬一郎・柴崎 智美・金田 光平
科目の目標	将来、医療人として患者さんの安全を守り、安心され信頼される医療を提供するために、チーム医療と医療安全管理に関する関心を高め、医療事故が発生した際の適切な対応および医療事故の防止と再発予防に必要な事項を理解する。
学習の具体的な目標	1) 医療安全管理に関する基本的な事項を説明できる。 2) 医療事故、医療過誤、医療紛争に関する基本的な事項を概説できる。 3) 医療事故および医療紛争の発生要因やその予防に関して、自分の考えを述べることができる。 4) 医療の現場におけるヒヤリ・ハット報告の意味を述べることができる。 5) 根本原因分析（RCA）の手法を用いて、ヒヤリ・ハット事例を検討できる。 6) 医療安全管理におけるチーム医療の役割を説明できる。 7) 多職種協働のチームアプローチにより課題を発見し、解決に取り組むことができる。 各主題について、グループワークののちプレゼンテーションを行いお互いに評価する。

授業計画表				
Aグループ				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	医療安全概説		
	授業内容	1. 医療の質の向上と医療安全管理について説明する。 2. 医療の安全を阻む要因について説明する。 3. 安全な医療を提供するための要点を説明する。 4. 医療事故と医療過誤、医療紛争の違いを述べ、その現状を説明する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		

テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討1：説明とBuzz Session 1			
授業内容	1. 実際のヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討2：説明とBuzz Session 2		
	授業内容	1. 新たなヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の分析方法(RCA)解説		
	授業内容	1. 根本原因分析(RCA)の具体的な方法について説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	1限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討3：分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	2限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討4：発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・三輪・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討1：分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 3. 発表用資料を作成し、提出する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・三輪・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	危険予知トレーニング(KYT)1：説明と検討		

授業内容		1. 危険予知トレーニング（KYT）の意義・具体的な方法について説明する。 2. 検討する事例について説明する。 3. 教室内で小グループに分かれ、KYTの手法で事例について討議する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年06月16日（月）	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	危険予知トレーニング（KYT）2：説明と検討		
	授業内容	1. 小グループでKYTの手法で事例について討議を進める。 2. 事例について各グループで発表する。 3. 全体討論を通じてKYTについて理解を深める。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年06月23日（月）	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	埼玉医大における医療安全管理体制 医療紛争事例の検討1：説明		
	授業内容	1. 埼玉医大における医療安全管理体制について、具体的な組織とその役割を概説する。 2. 緊急事態が生じた際の個人としての具体的な行動について、埼玉医大の医療安全対策マニュアルにそって概説する。 3. 医事紛争事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年06月30日（月）	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	医療紛争事例の検討1：分析と検討		
	授業内容	1. 学生を16グループに分ける。 2. 医療紛争事例について、グループごとに事例検討を行う。なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年06月30日（月）	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	医療紛争事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 事例について、グループごとに発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年07月12日（土）	時限	1限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：検討		
	授業内容	1. 4学科の学生混合の16グループに分ける。 2. チーム医療の現状と問題点についてグループごとに討議する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年07月12日（土）	時限	2限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：発表		
	授業内容	1. 討議内容を要約し発表する。 2. 全体討論を通じてチーム医療に対する理解を深める。 3. チーム医療と質の高い医療、医療安全とのかかわりについて説明する。 （予習時間30分、復習時間30分）		

Bグループ

1	年月日（曜日）	令和 7年04月28日（月）	時限	1限
	講義室	202		

担当者	辻・池田・是村・清水・甘利			
テーマ	医療安全概説			
授業内容	1. 医療の質の向上と医療安全管理について説明する。 2. 医療の安全を阻む要因について説明する。 3. 安全な医療を提供するための要点を説明する。 4. 医療事故と医療過誤、医療紛争の違いを述べ、その現状を説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
2	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討1: 説明とBuzz Session 1		
	授業内容	1. 実際のヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討2: 説明とBuzz Session 2		
	授業内容	1. 新たなヒヤリ・ハット事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 2. 教室内で4-5人程度の小グループに分かれ、与えられた事例について、何故そのような問題が生じたのか、数分間討議し、結論を発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の分析方 (RCA) 解説		
	授業内容	1. 根本原因分析 (RCA) の具体的な方法について説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	3限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討3: 分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月24日(土)	時限	4限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	ヒヤリ・ハット事例の検討4: 発表		
	授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	1限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・三輪・梅澤・森・石橋・柴崎・金田		
	テーマ	対応困難事例の検討1: 分析と検討・資料作成		
	授業内容	1. 医学部・保健医療学部4学科の学生混合の30グループに分け、それぞれの事例を担当させる。 2. 学生はセミナールーム等に分かれ、RCAの手法にのっとり、なぜ、そのような事例が生じたか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 3. 発表用資料を作成し、提出する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月31日(土)	時限	2限
	講義室	毛呂山キャンパス・カタロスタワー		

担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・三輪・梅澤・森・石橋・柴崎・金田			
テーマ	対応困難事例の検討2：発表			
授業内容	1. 全体を5グループに分け、それぞれ1つ10分の持ち時間で発表する。 2. 全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)			
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT) 1：説明と検討		
	授業内容	1. 危険予知トレーニング (KYT) の意義・具体的な方法について説明する。 2. 検討する事例について説明する。 3. 教室内で小グループに分かれ、KYTの手法で事例について討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	危険予知トレーニング (KYT) 2：説明と検討		
	授業内容	1. 小グループでKYTの手法で事例について討議を進める。 2. 事例について各グループで発表する。 3. 全体討論を通じてKYTについて理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	埼玉医大における医療安全管理体制 医療紛争事例の検討1：説明		
	授業内容	1. 埼玉医大における医療安全管理体制について、具体的な組織とその役割を概説する。 2. 緊急事態が生じた際の個人としての具体的な行動について、埼玉医大の医療安全対策マニュアルにそって概説する。 3. 医療紛争事例について、資料を配布して医学的内容を説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	1限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	医療紛争事例の検討1：分析と検討		
	授業内容	1. 学生を16グループに分ける。 2. 医療紛争事例について、グループごとに事例検討を行う。なぜ、そのような事例が生じたのか、どうすれば防げたのか、について各種の観点から討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	2限
	講義室	202		
	担当者	辻・池田・是村・清水・甘利		
	テーマ	医療紛争事例の検討2：発表		
	授業内容	1. 事例について、グループごとに発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	3限
	講義室	講堂2F・C401		
	担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤		
	テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：検討		
	授業内容	1. 4学科の学生混合の16グループに分ける。 2. チーム医療の現状と問題点についてグループごとに討議する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月12日(土)	時限	4限
	講義室	講堂2F・C401		

担当者	辻・池田・是村・甘利・清水・茅野・田邊・嶋崎・酒井・大野・梅澤
テーマ	チーム医療の問題点と解決策1：発表
授業内容	1. 討議内容を要約し発表する。 2. 全体討論を通じてチーム医療に対する理解を深める。 3. チーム医療と質の高い医療、医療安全とのかかわりについて説明する。 （予習時間30分、復習時間30分）
評価方法	出席状況、受講態度、プロダクトの作成・発表状況などをもって、総合的に評価する。作成したプロダクトおよび発表については、学生による同僚評価も実施し、評価の集計をフィードバックする。なお、授業回数の4/5以上に出席しなければ不合格となる。（遅刻は0.5回相当） 再試験：なし
教科書	プリント教材を適宜配布する。
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【辻 美隆】 月曜・水曜・木曜の12：15～13：00、 木曜・金曜の17：00～18：00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ること。 メールアドレス：ytsuji@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日にはシラバスの該当部分を確認し、記載されたテーマについて図書館やインターネットで予習、また授業後には自ら調べた資料の整理・分析、発表用資料の構成検討、発表の練習などを怠らないこと。

講義名	理学療法研究法		
(副題)	専門分野（基礎理学療法学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・國澤 洋介・新井 智之・澤田 豊・師岡 祐輔
科目の目標	理学療法研究に必要な基本事項を理解し、研究を行う際に必要となる最低限の知識を習得する。
学習の具体的な目標	eラーニング、グループワーク、演習を通して下記を目標に対して学修する。 1) 臨床試験の段階、研究デザイン、データの質の管理について説明できる。 2) 非臨床試験の安全性評価について説明できる。 3) 治験の段階と承認申請について説明できる。 4) 疫学研究のデザイン、調査方法、利点と欠点を説明できる。 5) 生物統計学と仮説検定の概要を説明できる。 6) 交絡と調整、因果推論とランダム化について説明できる。 7) 臨床研究における倫理について概要を説明できる。 8) 研究計画に基本的な立て方を説明できる。 9) 論文の基本的な立て方を説明できる。 10) 統計の基本的な考え方と解析手技を理解する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	高倉		
	テーマ	ICR-webのガイダンス, 臨床研究概論		
	授業内容	1. ICRwebの利用登録 2. ICRwebの基本操作の習得 3. 臨床研究の分類について具体例を挙げて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	新井		
	テーマ	治療開発のための研究 1 臨床試験		
	授業内容			

1. 臨床試験の段階（Phase）について説明できる。
 2. 臨床試験の代表的な研究デザインについて説明できる。
 3. 臨床試験におけるデータの質の管理について説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日（曜日）	令和 7年04月25日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	澤田		
	テーマ	治療開発のための研究2 非臨床試験		
	授業内容	1. 医薬品の安全性評価について概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年05月02日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	高倉		
	テーマ	治療開発のための研究3 治験		
	授業内容	1. 医薬品の開発段階について概要を説明できる。 2. 医薬品の承認申請について概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年05月09日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	澤田		
	テーマ	病気の原因を調べるための疫学研究1：ケース・コントロール研究		
	授業内容	1. ケースコントロール・デザインについて概要を説明できる。 2. コホート研究のデザインについて説明できる。 3. コホート研究における調査方法について概要を説明できる。 4. コホート研究の利点と欠点について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年05月16日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	高倉		
	テーマ	病気の原因を調べるための疫学研究2：コホート研究		
	授業内容	1. コホート研究のデザインについて説明できる。 2. コホート研究における調査方法について概要を説明できる。 3. コホート研究の利点と欠点について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年05月23日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	澤田		
	テーマ	生物統計学1：仮説検定、生物統計学2：交絡・ランダム化と因果推論		
	授業内容	1. 生物統計学の概要を説明できる。 2. 仮説検定について概要を説明できる（有意水準、過誤、サンプルサイズと検出力など）。 3. 交絡とその調整について説明できる。 4. 因果推論とランダム化について概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年05月30日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	新井		
	テーマ	研究倫理と被験者保護、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の解説		
	授業内容	1. 生命倫理・医療倫理について歴史的背景、意義・目的などを説明できる。 2. 臨床研究における倫理について概要を説明できる。 3. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年06月06日（金）	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	高倉		
	テーマ	理学療法研究計画		

授業内容	1. クリニカルクエスションの設定方法を説明できる。 2. 代表的な研究デザインを説明できる。 3. エンドポイントの注意点を説明できる。 4. 対象の設定方法と注意点を説明できる。 5. バイアスの種類と意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	高倉		
	テーマ	論文の基本的な書き方		
	授業内容	1. 論文の基本構成を説明できる。 2. 「はじめに」の書き方を説明できる。 3. 「対象」の書き方を説明できる。 4. 「方法」の書き方を説明できる。 5. 「結果」の書き方を説明できる。 6. 「考察」の書き方を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	統計の基礎知識、統計ソフトの基本的な使い方		
	授業内容	1. 尺度の種類を説明し、統計手法の選択の仕方を説明できる。 2. 統計ソフトの基本的な操作方法を実践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	データベースの作成		
	授業内容	1. データベースを作成することができる。 2. 基本統計量を算出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	図・表の作成		
	授業内容	1. 統計ソフトを使い、図と表を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	t検定 対応のあるt検定 マン・ホイットニ検定 ウィルコクソン符号付き順位和検定		
	授業内容	1. t検定、対応のあるt検定を行うことができる。 2. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 3. マンホイットニ検定、ウィルコクソン符号付順位和検定を行うことができる。 4. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	相関と相関係数、回帰と単回帰分析		
	授業内容	1. 相関と相関係数を説明し、相関係数を算出できる。 2. 回帰と単回帰分析を説明し、単回帰分析を実行できる (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. ICR webの履修状況および小テストの成績、授業態度から総合的に判断する。 2. 定期試験期間中の試験は行わない。
教科書	1. リハビリテーション統計学（15レクチャーシリーズ）、対馬栄輝編、中山書店（3年時購入済み） 2. ICR-web（臨床研究入門）からダウンロードする。 http://www.icrweb.jp/icr/ その他の授業資料は適宜配付する。
参考書	1. 医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版、木原雅子・木原正博翻訳、メディカルサイエンスインターナショナル
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉 保幸】 金曜日12：00～13：00 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールにてアポイントメントを取ること。 メールアドレス：takakura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前までにWEB上で該当部分を予習し、授業後には学習内容の見直しを行うこと。レポート課題の期限は授業ごとに指定するので厳守すること。

講義名	臨床運動学		
(副題)	専門分野（基礎理学療法学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 澤田 豊	理学療法学科教員

担当教員	澤田 豊・三浦 佳代・森田 泰裕・原 有心
科目の目標	臨床運動学とは身体運動学や運動生理学を中心とした運動障害学として位置づけられる。そのため、基礎運動学、応用運動学、運動学実習で学んだ正常な身体運動の基礎知識と分析技術をもとにして、様々な疾患や外傷によって生じる身体機能障害と異常運動との関連性を理解することを目標とする。身体運動に関わる運動制御や運動学習、姿勢とバランスの制御について学ぶとともに、運動障害をもつものの動作観察・分析方法を理解し実践できることを目標とする。また、グループワークやディスカッションを通して、運動や動作の観察・分析を運動学、運動力学的な視点で考える力を養うことを目的とする。
学習の具体的な目標	1) 運動制御理論と運動学習理論について理解し、その概略が説明出来る。 2) 姿勢とバランスの制御について理解し、加齢変化について説明出来る。 3) 二次元および三次元動作分析について理解し、その違いや特徴について説明出来る。 4) 三次元動作解析装置を用いた測定方法について理解し、その概略が説明出来る。 5) 三次元動作解析装置で測定解析された健康者データを用い、データの解釈や応用的な利用について理解する。 6) 5) で得られたデータをグループで討議し報告資料を集約することが出来る。また、その結果についてグループで討議し、まとめた見解や意見をプレゼンテーション出来る。 7) 二次元動作観察およびその記述、観察結果の分析手法を理解し、その概略を説明することが出来る。 8) 患者動画を観察し、観察内容（姿勢：臥位、座位、立位、動作：床上、起立、歩き始め、歩行）の記述、障害や問題点に対する仮説設定、仮説検証のために必要な理学療法評価項目を列举出来る。 9) 7) で得られたデータをグループで討議し報告資料を集約することが出来る。また、その結果についてグループで討議し、まとめた見解や意見をプレゼンテーション出来る。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限
	講義室	202		
	担当者	澤田		
	テーマ	運動制御と運動学習		
	授業内容	1. 運動制御理論を学ぶ必要性について説明できる。 2. 反射-階層理論とシステム理論の違いについて説明できる。 3. 運動学習について概略が説明できる。 4. 運動学習とフィードバックについて説明ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限

講義室	202			
担当者	澤田			
テーマ	姿勢とバランスの制御			
授業内容	1. 姿勢制御の定義について説明できる。 2. システム理論に関与する「個体－運動課題－環境」について説明できる。 3. 姿勢制御のための運動・感覚機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年05月13日（火）	時限	3限
	講義室	202		
	担当者	森田・澤田		
	テーマ	加齢と姿勢制御		
	授業内容	1. 老化のモデルと多様性について説明できる。 2. 転倒の定義について説明できる。 3. 姿勢制御システムにおける年齢関与の変化を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年05月20日（火）	時限	3限
	講義室	202		
	担当者	澤田		
	テーマ	臨床動作分析（入門）		
	授業内容	1. 動作分析の手法（二次元・三次元）について説明できる。 2. 動作の相分けについて理解し、基本動作各相（phase）について説明できる。 3. 線画描写（スキーマ）を用いた運動・動作の描画方法について説明できる。 4. 動作観察と動作分析の違いについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年05月27日（火）	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	原・澤田・三浦・森田		
	テーマ	三次元動作解析装置を用いた解析方法と技術		
	授業内容	1. 三次元動作解析の手法と技術について説明ができる。 2. 近年の動作解析技術について説明ができる。 3. 二次元動作解析（視覚的）と三次元動作解析（機器を用いた）手法の違いや特徴について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年05月27日（火）	時限	4限
	講義室	動作解析室・301		
	担当者	原・澤田・三浦・森田		
	テーマ	三次元動作解析装置を用いた測定		
	授業内容	1. 機器を用いた三次元動作解析の実際を見学し、その手順の説明ができる。 2. 動作観察より動作の相分け、観察内容を記述出来る。 3. 動作観察の内容をまとめ、次回の分析のための準備が出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年06月03日（火）	時限	3限
	講義室	PC教室・202		
	担当者	原・澤田・三浦・森田		
	テーマ	データ処理と解析（立ち上がり、歩き始め、歩行）		
	授業内容	1. 三次元動作解析装置から得られたデータの参照方法について説明出来る。 2. 得られたデータについて運動学的、運動力学的データ（関節角度、身体重心軌跡、関節モーメント）をグラフ化出来る。 3. グラフ化されたデータおよび前回の観察結果を統合解釈し記述することが出来る。 4. 分析結果や解釈についてグループで討議し次回のグループディスカッション資料を作成できる。 （予習時間30分、資料作成時間60-180分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年06月03日（火）	時限	4限
	講義室	PC教室・202		
	担当者	原・澤田・三浦・森田		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限
	講義室	301・運動療法実習室2		
	担当者	原・澤田・三浦・森田		
	テーマ	三次元動作解析結果発表		
	授業内容	1. 前回の三次元動作解析の結果について、小グループで報告説明することができる。 2. 小グループの報告説明について、ディスカッションを通じた質問と応対を行うことができる。 3. ディスカッションにより得られた意見や考えをもとに、必要に応じ三次元動作分析提出課題を修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	澤田・三浦・森田		
	テーマ	運動・動作観察と分析 1-1 (床上動作、立ち上がり)		
	授業内容	1. 視覚的(二次元的)に床上動作、立ち上がり動作の観察を行いワークシートに記述することができる。 2. 観察結果より動作の異常を検出し、その要因について仮説を検討することができる。 3. 検討した仮説を検証するための理学療法評価の項目を列挙することができる。 4. 次回のグループディスカッションのための動作分析ワークシートを完成させることができる。 (予習時間30分、復習時間30-60分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	澤田・三浦・森田		
	テーマ	運動・動作観察と分析 1-2 (床上動作、立ち上がり)、グループディスカッション		
	授業内容	1. 前回の床上動作、立ち上がり動作分析の結果を小グループで説明することができる。 2. 小グループの報告説明について、ディスカッションを通じた質問と応対を行うことができる。 3. ディスカッションにより得られた意見や考えをもとに、必要に応じワークシート提出課題を修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	澤田・三浦・森田		
	テーマ	運動・動作観察と分析 2-1 (歩行、段差昇降)		
	授業内容	1. 視覚的(二次元的)に歩行、段差昇降動作の観察を行いワークシートに記述することができる。 2. 観察結果より動作の異常を検出し、その要因について仮説を検討することができる。 3. 検討した仮説を検証するための理学療法評価の項目を列挙することができる。 4. 次回のグループディスカッションのための動作分析ワークシートを完成させることができる。 (予習時間30分、復習時間30-60分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	澤田・三浦・森田		
	テーマ	運動・動作観察と分析 2-2 (歩行、段差昇降)、グループディスカッション		
	授業内容	1. 前回の歩行、段差昇降動作分析の結果を小グループで説明することができる。 2. 小グループの報告説明について、ディスカッションを通じた質問と応対を行うことができる。 3. ディスカッションにより得られた意見や考えをもとに、必要に応じワークシート提出課題を修正することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	澤田・三浦・森田		
	テーマ	運動・動作観察と分析 3-1 (その他追加動作、症例検討)		
	授業内容	1. 視覚的(二次元的)に追加動作の観察を必要に応じて行いワークシートに記述することができる。 2. 動作の観察と分析1-1から2-2を通じた1症例についてまとめ、統合的な解釈をワークシートに記述することができる。 3. 次回のグループディスカッションのための動作分析ワークシートを完成させることができる。 (予習時間30分、復習時間30-60分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		

担当者	澤田・三浦・森田
テーマ	運動・動作観察と分析 3-2（その他追加動作、症例検討）、グループディスカッション
授業内容	1. 1 症例についての観察分析結果より、統合された解釈について結果を小グループで説明することが出来る。 2. 小グループの報告説明について、ディスカッションを通した質問と応対を行うことができる。 3. ディスカッションにより得られた意見や考えをもとに、必要に応じワークシート提出課題を修正することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）
評価方法	1. 出席状況、授業態度、ワークシートなどの提出課題、定期試験期間中の試験（MCQおよび記述試験）により総合的に評価する。 再試験（有り）
教科書	1. 動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析、上杉雅之監、西守隆編、医歯薬出版 ※最新版が出版されていれば最新のものを使用する。
参考書	1. モーターコントロール 運動制御の理論から臨床実践へ、Anne Shumway-Cook編、医歯薬出版 2. セラピストのための運動学習ABC、大橋ゆかり著、文光堂
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【澤田 豊】 月曜日から金曜日の13：00-17：30 それ以外の時間はメール連絡。 E-mail：ysawada@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	予習復習について、授業前日には教科書の該当する範囲を予習し、授業後の空き時間には学習内容の見直しを行うこと。参考書、参考文献など図書館を利用するなど積極的に用語の確認や理解を深め学習内容することを心掛けてください。（これまでの解剖学、運動学的知識が理解されていることが前提）動作観察や分析課題について復習や解析データのまとめが必要になります。これらはグループ単位で実施しますので、授業外の空き時間を利用し、活発に討議を行い、内容をまとめグループディスカッションに備えて下さい。運動や動作の観察、分析については、線画による描写やPCによるExcelデータをもとにした演習、およびグループディスカッションにより理解を深める。そのため、PCの操作には十分に慣れておくことが望ましい。ディスカッションへの参加状況について授業態度として成績に含めるものとする。

講義名	理学療法管理学		
(副題)	専門分野		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・赤坂 清和・高倉 保幸・服部 寛・森本 貴之・岩崎 寛之
科目の目標	理学療法を行う上で基本となる医療・保健・福祉の倫理的な背景や歴史的な経緯を学修し、理学療法士の職業倫理について理解を深める。また、医療・介護・福祉施設におけるリハビリテーション部門の職場管理やマネジメントについて理解を深め、医療人になるための準備やキャリア支援を行う。
学習の具体的な目標	グループディスカッションと発表を用い、以下の学習目標の到達を図る。 1) 理学療法士の職業倫理について理解し、を説明できる。 2) 職場の組織、業務管理やマネジメントについて理解し、説明できる。 3) 医療保険制度・介護保険制度について理解し、説明できる。 4) 職場におけるリスクマネジメント・危機管理について理解し、説明できる。 5) 理学療法士に必要な教育活動・学術研究活動について理解し、説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉		
	テーマ	理想的な職場①		
	授業内容	理想的な職場について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤		
	テーマ	診療報酬制度①		
	授業内容	現行の診療報酬制度を理解し、提供する医療サービスの在り方について討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・岩崎		

テーマ	職業倫理①			
授業内容	理学療法士として働く上で問題となりやすい倫理的問題について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・岩崎		
	テーマ	医療安全管理①		
	授業内容	理学療法士として働く上で必要なリスクマネジメントについて、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・赤坂・服部		
	テーマ	理学療法士の学術研究活動①		
	授業内容	理学療法士の教育活動や学術研究活動について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・赤坂・服部		
	テーマ	理学療法士の学術研究活動②		
	授業内容	理学療法士の教育活動や学術研究活動について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉		
	テーマ	理想的な職場②		
	授業内容	実習を通して改めて考えた理想的な職場について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤		
	テーマ	診療報酬制度②		
	授業内容	実習を通して知った医療サービスの在り方を踏まえ、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤		
	テーマ	職業倫理②		
	授業内容	実習を通して改めて考えた倫理的問題について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森本・國澤		
	テーマ	理学療法士の業務・職場管理		
	授業内容	医療現場における理学療法業務や職場管理について討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森本・國澤		

テーマ	医療機関の分化とチーム医療			
授業内容	医療現場における機能分化と多職種連携チームの在り方について討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	赤坂		
	テーマ	これからの理学療法士とキャリア支援		
	授業内容	理学療法士に関連する学術団体や職能団体などの組織を理解し、こらからの理学療法士の在り方について討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・岩崎		
	テーマ	医療安全管理②		
	授業内容	実習を通して改めて考えたリスクマネジメントについて、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・岩崎		
	テーマ	医療分野における制度の変化		
	授業内容	医療分野における制度の変遷や課題を理解し、これからの理学療法士や職場の在り方について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	國澤・岩崎		
	テーマ	福祉分野における制度の変化		
	授業内容	福祉分野における制度の変遷や課題を理解し、これからの理学療法士や職場の在り方について、自分たちの考えを討論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 出席状況、授業態度、グループワークへの取り組み、レポートを総合的に判断して評価する。
教科書	1. 授業毎に内容に沿った資料を配付する。
参考書	1. 理学療法概論、奈良塾、医歯薬出版 2. 理学療法管理学、奈良塾、医歯薬出版 3. VTRなどを活用し最近の話題などに触れる。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【國澤 洋介】 金曜日の12:10～13:10とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は事前にアポイントメントをとること。 E-mail : kunisawa@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には参考資料等の該当部分を予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めること。 2. レポートは提示された期間内に提出すること。

講義名	筋骨格理学療法実習Ⅰ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 赤坂 清和	理学療法学科教員

担当教員	赤坂 清和・大久保 雄・澤田 豊・服部 寛・長谷部悠葵・溝口 靖亮
科目の目標	上下肢の主要な関節部位に関連する筋・骨格系理学療法を実施するために必要な基本的運動療法と部位別理学療法の評価と治療の実践について学ぶ。学習内容の理解を深めるために一部の授業ではアクティブラーニングに即して、PBL（問題解決型学習）によりそれまでの授業で学んだ理学療法に関するエビデンスを学生自身が調査してまとめるとともに、反転授業としてその結果を学生が発表することで共有しながら、理解を深めるように工夫を行う。
学習の具体的な目標	演習を通して以下の学習目標を修得する。 1. 肩関節・股関節・膝関節障害の評価と理学療法について説明・実施できる。 2. 肩関節・股関節・膝関節障害の術後療法について説明・実施できる。 3. 肩関節・股関節・膝関節障害の関節運動学的アプローチについて説明・実施できる。 4. 肩関節・股関節・膝関節障害の徒手筋力強化練習について説明・実施できる。 5. 肩関節・股関節・膝関節障害のセルフエクササイズ指導が実施できる。 6. 肩関節・股関節・膝関節障害の理学療法EBMについて説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	筋骨格理学療法分野のEBMの学習方法 筋骨格理学療法における筋力強化の原則 筋骨格理学療法における他動運動の原則 肩関節機能障害に対する徒手理学療法（1）		
	授業内容	1. EBMの活用方法を学び、課題を確認する。 2. 筋骨格理学療法における筋力強化と他動運動の原則を学ぶ。 3. 肩関節に対する徒手理学療法の手技について説明できる。 4. 肩関節に対する徒手理学療法の手技が実践できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		

テーマ	肩関節機能障害に対する徒手理学療法（2）			
授業内容	1. 肩関節に対する徒手理学療法の手技について説明できる。 2. 肩関節に対する徒手理学療法の手技が実践できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	肩関節機能障害に対する徒手理学療法（3）		
	授業内容	1. 肩関節に対する徒手理学療法の手技について説明できる。 2. 肩関節に対する徒手理学療法の手技が実践できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	肩関節機能障害に対する徒手理学療法（4）		
	授業内容	1. 肩関節に対する徒手理学療法の手技について説明できる。 2. 肩関節に対する徒手理学療法の手技が実践できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年04月30日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	肩関節機能障害に対する理学療法（1）		
	授業内容	1. 肩関節拘縮に対する一部の理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年04月30日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	肩関節機能障害に対する理学療法（2）		
	授業内容	1. 肩回旋筋腱板損傷に対する理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年05月07日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	肩関節機能障害に対する理学療法（3）		
	授業内容	1. 肩関節不安定症に対する理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年05月07日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	肩関節機能障害に対する理学療法（4）		
	授業内容	1. 肩関節周囲炎に対する理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年05月14日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肩関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス（1）		
	授業内容	1. 【PBL（問題解決型学習）】肩関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業（自宅で課題を行い、授業でアウトプットする）】ランダムに1/3classが発表する。（1人10分） （予習時間60分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年05月14日（水）	時限	2限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口			
テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肩関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス（2）			
授業内容	1. 【PBL（問題解決型学習）】肩関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業（自宅で課題を行い、授業でアウトプットする）】ランダムに1/3classが発表する。（1人10分） （予習時間60分、復習時間30分）			
11	年月日（曜日）	令和 7年05月21日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・大久保		
	テーマ	股関節機能障害の特徴		
	授業内容	1. 股関節機能障害の特徴を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年05月21日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・大久保		
	テーマ	股関節機能障害の評価、目標、プログラム立案		
	授業内容	1. 股関節機能障害に必要な評価方法を実施できる。 2. 股関節機能障害に対する目標設定ができる。 3. 股関節障害に対するプログラム立案ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年05月28日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	股関節機能障害に対する理学療法（1）		
	授業内容	1. 変形性股関節疾患に対する観血的治療後の理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年05月28日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	股関節機能障害に対する理学療法（2）		
	授業内容	〃		
15	年月日（曜日）	令和 7年06月04日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	股関節機能障害に対する徒手理学療法（1）		
	授業内容	1. 股関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年06月04日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	股関節機能障害に対する徒手理学療法（2）		
	授業内容	1. 股関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
17	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	股関節機能障害に対する徒手理学療法（3）		
	授業内容	1. 股関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

18	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	股関節機能障害に対する徒手理学療法(4)		
	授業内容	1. 股関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】股関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス(1)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】股関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】股関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス(2)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】股関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する徒手理学療法(1)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する徒手理学療法(2)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	膝関節機能障害に対する徒手理学療法(3)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・赤坂		
	テーマ	膝関節機能障害に対する徒手理学療法(4)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する徒手理学療法が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する理学療法の計画と実践(1)		

授業内容		1. 膝関節機能障害に対する理学療法を計画することが出来る。 2. 膝関節機能障害に対する理学療法をが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する理学療法の計画と実践 (2)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する理学療法を計画することが出来る。 2. 膝関節機能障害に対する理学療法をが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する理学療法の計画と実践 (3)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する理学療法を計画することが出来る。 2. 膝関節機能障害に対する理学療法をが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	膝関節機能障害に対する理学療法の計画と実践 (4)		
	授業内容	1. 膝関節機能障害に対する理学療法を計画することが出来る。 2. 膝関節機能障害に対する理学療法をが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】膝関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス (1)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】膝関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】膝関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンス (2)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】膝関節疾患および外傷に対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		
評価方法		出席状況と授業態度、課題やレポート、定期試験期間中に行う期末試験(75%、追再試は1度のみ)などにより、総合的に評価する。また、レポート提出に対しコメントを返す。		
教科書		1. エビデンスに基づく整形外科徒手検査、柳澤健・赤坂清和 翻訳、エルゼビア・ジャパン 2. メイトランド 四肢関節マニピュレーション、Elly Hengeveld他編、医学映像教育センター		
参考書		なし		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【赤坂 清和】 月曜日と金曜日の13-16時とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合には、事前にアポイントメントをとること。 E-mail: akasaka@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		授業前日には実習書の該当部分を予習し、教科書で実習内容の意味を理解しておくこと。また、毎回の授業後には、各関節に対する理学療法のEBM発表のための学習を行い、発表週の月曜日正午までにWordファイルとPowerPointファイルを作成し、2つのファイルはwebclassの本科目のフォルダーに提出するものとし、ファイル名を学籍番号+氏名としてアップロードすることとする。		

講義名	神経筋理学療法学演習		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 小関 要作	理学療法学科教員

担当教員	小関 要作・高倉 保幸・師岡 祐輔・清水 夏生・小山 紀子
科目の目標	理学療法の対象となる主な神経筋疾患と失調についてその病理・臨床症状・障害を確認する。また運動機能の改善・二次的な合併症の予防・患者教育等の適切な理学療法を施行するために必要な考え方・評価・治療技術を習得することを目標とする。
学習の具体的な目標	講義とグループ、ディスカッション・実技演習を通して以下の学習目標を修得する。 1) 運動失調と平衡機能障害を捉え理学療法を実施できる。 2) 末梢神経損傷の障害を捉え理学療法を説明できる。 3) ギランバレー症候群の障害を捉え理学療法を説明できる。 4) パーキンソン病の障害を捉え理学療法を実施できる。 5) 多発性硬化症の障害を捉え理学療法を説明できる。 6) 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症を捉え理学療法を説明できる。 7) 多発性筋炎・重症筋無力症の障害を捉え理学療法を説明できる。 8) 筋萎縮性側索硬化症の障害を捉え理学療法を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	運動失調の症状と病巣、検査		
	授業内容	1. 運動失調の理学療法評価ができる。(実習) 2. 運動失調の障害構造の分析ができる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	1限

講義室	運動療法実習室 1			
担当者	師岡・小関			
テーマ	運動失調の理学療法			
授業内容	1. 運動失調の理学療法を説明できる。 2. 運動失調の理学療法を実施できる。(実習) (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	延髄外側症候群		
	授業内容	1. 延髄外側症候群の障害像を他者に説明できる。(グループディスカッション) 2. 延髄外側症候群に対する理学療法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	症例検討① 運動失調例		
	授業内容	1. Paper patient (運動失調例) を用いた評価・プログラム立案ができる。(グループワーク、グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	末梢神経損傷①		
	授業内容	1. 末梢神経損傷の分類を説明できる。 2. 末梢神経損傷の回復過程を説明できる。 3. 末梢神経損傷の理学療法の評価と原則を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		

担当者	高倉・清水			
テーマ	末梢神経損傷②			
授業内容	1. 腕神経叢麻痺の理学療法を説明できる。 2. 橈骨・正中・尺骨神経麻痺の理学療法を説明できる。 3. 大腿神経麻痺の理学療法を説明できる。 4. 坐骨神経（脛骨神経・腓骨神経）麻痺の理学療法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
12	年月日（曜日）	令和 7年06月03日（火）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日（曜日）	令和 7年06月10日（火）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	進行性疾患の理学療法総論		
	授業内容	1. 基本的な障害構造の分析ができる。 2. 理学療法的問題解決の方法を説明できる （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年06月10日（火）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	ギランバレー症候群		
	授業内容	1. ギランバレー症候群の理学療法評価を説明できる。 2. ギランバレー症候群の理学療法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年06月17日（火）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	パーキンソン病①		
	授業内容	1. パーキンソン病の特徴を説明できる。 2. パーキンソン病の理学療法評価を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年06月17日（火）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日（曜日）	令和 7年06月24日（火）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	パーキンソン病②		
	授業内容	1. パーキンソン病の理学療法評価の解釈ができる。 2. パーキンソン病の障害構造の分析ができる。 3. パーキンソン病の理学療法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年06月24日（火）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
19	年月日（曜日）	令和 7年06月24日（火）	時限	4限

講義室	運動療法実習室2			
担当者	小関・清水			
テーマ	パーキンソン病③			
授業内容	1. パーキンソン病の理学療法を実施できる。(実技演習) 2. パーキンソン症候群の説明ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
20	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	多発性筋炎・重症筋無力症		
	授業内容	1. 多発性筋炎・重症筋無力症の理学療法評価を説明できる。 2. 多発性筋炎・重症筋無力症の理学療法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	症例検討② 神経筋疾患例		
	授業内容	1. Paper patient (運動失調例) を用いた評価・プログラム立案ができる。(グループワーク、グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	多発性硬化症		
	授業内容	1. 多発性硬化症の特徴を説明できる。 2. 多発性硬化症の特徴をふまえて理学療法評価を説明できる。 3. 多発性硬化症の理学療法を説明できる。 4. 模擬症例について、検査結果を統合・解釈し基本方針、目標、プログラムを立案できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	師岡・小関		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	脊髄小脳変性症、多系統萎縮症		
	授業内容	1. 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の特徴を説明できる。 2. 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の特徴をふまえて理学療法評価を説明できる。 3. 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の理学療法を説明できる。 4. 模擬症例について、検査結果を統合・解釈し基本方針、目標、プログラムを立案できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小関・清水		

テーマ	〃			
授業内容	〃			
27	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小山・小関		
	テーマ	筋萎縮性側索硬化症（ALS）①		
	授業内容	1. 筋萎縮性側索硬化症の理学療法評価の解釈ができる。 2. 筋萎縮性側索硬化症の障害構造の分析ができる （予習時間30分、復習時間30分）		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小山・小関		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小山・小関		
	テーマ	筋萎縮性側索硬化症（ALS）②		
	授業内容	1. 筋萎縮性側索硬化症の理学療法を説明できる。 2. コミュニケーション手段の種類と特徴を理解し、使用できる。（実習） （予習時間30分、復習時間30分）		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室 1		
	担当者	小山・小関		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
評価方法	1. 授業態度、授業毎の確認課題（小テスト）、中間試験（6/20を予定。運動失調、延髄外側症候群、末梢神経損傷の範囲。）、定期試験により総合的に評価する。 2. 中間試験不合格者には、追・再試験を授業時間とは別の時間（7/4を予定）で実施する。定期試験不合格者には、再試験を追・再試験期間中に実施する。			
教科書	1. 標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版. 吉尾雅春／森岡周／阿部浩明編 医学書院			
参考書	1. 標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論 第4版. 吉尾雅春／横田一彦編 医学書院			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【小関 要作】 月曜日1, 2限とする。 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールでアポイントメントを取ること。 メールアドレス：y_koseki@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し、教科書で講義・演習内容の意味を理解しておくこと。また、講義・演習後、レジュメや教科書で内容を復習しながら確認問題に取り組むこと。 実技がある時は白衣（ケーシー）を着用すること。 教室には授業に必要な物（教科書や筆記用具等）以外は持ち込まず、かばんと共にロッカーに保管すること。 30分以上の遅刻は欠席とする。			

講義名	中枢神経理学療法学演習Ⅰ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・清水 夏生・鈴木 翔太・岩崎 寛之
科目の目標	中枢神経疾患、特に脳血管障害に対して、個々の病態と機能を評価し、病態・機能に合わせた基本的理学療法を計画・実践できるようにする。実技演習を行うのでユニフォームを着用して授業に参加すること。
学習の具体的な目標	講義とグループワーク・実技演習を通じたアクティブラーニング形式の授業で、以下の学習目標を修得する。 1. 脳画像を読む。 2. 床上での評価と理学療法を実践できる。 3. 座位での評価と理学療法を実践できる。 4. 立位・歩行に対する評価と理学療法を実践できる。 5. 高次脳機能（注意・半側空間無視・失語）に対する評価とその機能に応じた理学療法を実践できる。 6. 片麻痺者のADL評価とその機能に応じた理学療法を実践できる。 7. Paper patientの評価・プログラム立案ができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	科目オリエンテーション 脳血管障害の病型		
	授業内容	1. 臨床的病型を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	脳血管障害の疫学 理学療法評価・病期による違い		
	授業内容	1. 理学療法評価の項目と病期を考慮した進め方について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	リスク管理 血圧管理		
	授業内容	1. 臨床的病型分類に応じた血圧管理を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	言語障害		
	授業内容	1. 代表的な言語機能障害を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・岩崎		
	テーマ	意識障害		
	授業内容	1. 意識障害に応じた理学療法の原則を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・岩崎		
	テーマ	床上での理学療法 肩手症候群		
	授業内容	1. 床上での理学療法を実践できる。 2. 肩手症候群の症状を説明できる。 3. 肩手症候群に対する理学療法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・岩崎		
	テーマ	注意機能(考え方)		
	授業内容	1. 注意機能を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	注意機能の評価 段階的ヘッドアップ		
	授業内容	1. 注意機能の評価できる 2. 臨床的病型分類に応じた血圧管理をしながら離床を進めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・岩崎		
	テーマ	注意(理学療法)		
	授業内容	1. 注意機能の評価結果に基づく理学療法の原則を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・岩崎		
	テーマ	起居動作		

授業内容		1. 起居動作練習を实践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	半側空間無視		
	授業内容	1. 半側空間無視を説明し、評価できる 2. 半側空間無視の評価に基づく理学療法の原則を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	Pusher現象		
	授業内容	1. Pusher現象の特徴を説明できる。 2. Pusher現象に対する理学療法の原則を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・岩崎		
	テーマ	端坐位練習		
	授業内容	1. プラットフォーム上での座位練習を实践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・岩崎		
	テーマ	移乗動作		
	授業内容	1. 移乗動作練習を实践できる (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・鈴木・岩崎		
	テーマ	実技確認演習(起居・端坐位・移乗)		
	授業内容	1. 脳血管障害を仮想して指示された理学療法を实践できる (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・鈴木・岩崎		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・鈴木・岩崎		
	テーマ	立位(基本練習)		
	授業内容	1. 立位練習を实践できる (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・鈴木・岩崎		
	テーマ	歩行(基本練習)		
	授業内容			

1. 歩行練習を実践できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

19	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	異常歩行の種類と原因1		
	授業内容	1. 立脚相における代表的な異常歩行の種類と原因を説明できる 2. 遊脚相における代表的な異常歩行の種類と原因を説明できる 3. 対応するプログラムを立案できる (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・岩崎		
	テーマ	異常歩行の種類と原因2 実技確認演習(立位・歩行)		
	授業内容	1. トレッドミルトレーニングの方法を説明できる 2. 機能的電気刺激を用いた歩行練習を実践できる 3. 脳血管障害を仮想して指示された理学療法を実践できる (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉・岩崎		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	画像の見方		
	授業内容	1. 脳画像を見て局在と役割を説明できる 2. 脳血管障害の画像の特徴を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	理学療法計画 システム理論と姿勢・運動制御		
	授業内容	1. 理学療法計画の考え方を説明できる 2. システム理論を説明できる 3. 姿勢・運動制御のメカニズムを説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者		清水・高倉		
テーマ		〃		
授業内容		〃		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	片麻痺者のADL 失行 嚥下障害 CI療法		
	授業内容	1. 失行の評価と理学療法の原則を説明できる。 2. ADL能力に応じた理学療法プログラムを立案できる 3. 嚥下障害の対応について説明できる 4. CI療法の概要について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・鈴木・岩崎		
	テーマ	症例検討		
	授業内容	1. Paper patientの評価・プログラム立案ができる (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・鈴木・岩崎		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 実技確認演習で実技能力を評価する。授業で指示した基本原則を習得している者を合格とする。 2. 前期定期試験期間に筆記試験を行う。 ▪ 基本的実技能力が目標に達した者は、筆記試験結果に出席状況・学習態度・提出課題結果を加えて総合評価を行う。 ▪ 筆記試験は多肢選択問題を行う。 3. 不合格者は追・再試験期間に再試験を行う。
教科書	1. 理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト5 中枢神経系理学療法学、柳澤健編、メジカルビュー社 2. その他の必要資料は随時配布する。
参考書	1. 標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第2版、吉尾雅春／森岡周／阿部浩明編、医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉 保幸】 木曜日12:00～13:00 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールでアポイントメントを取ること。 メールアドレス：takakura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書と配布資料の該当部分を予習しておくこと。また、臨床実習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。 実技演習があるときは白衣（ケーシー）の上下を着用すること。 30分以上の遅刻は欠席とする。

講義名	呼吸循環理学療法学演習		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 新井 智之	理学療法学科教員

担当教員	新井 智之・飛田 和基・甘利 貴志・高木 敏之・高山 絵里・高橋 洋介・木村 拓誠
科目の目標	呼吸循環理学療法学演習は、心・大血管リハビリテーションと呼吸リハビリテーションに対する理学療法の基本原理と実際について教授する。運動療法の対象となる心疾患と呼吸器疾患について、基礎的な知識を理解するとともに、必要となる医学情報の収集を行い、リスクの階層化を判断できることを目的とする。その上で各疾患に対する理学療法の基本的な理学療法プログラムを理解する。また、心・大血管リハビリテーションと呼吸リハビリテーションにおいて、臨床現場の症例検討を行い、その理学療法の進め方について理解を深める。なお、呼吸リハビリテーションについては、吸引について基本的な考え方と手技を理解する。なお、症例検討を中心としたグループ討議やディスカッションを通してアクティブラーニングとして行われる。
学習の具体的な目標	授業形態： 演習とディスカッションを通して下記の学習目標を習得する。 1) 心血管疾患リハビリテーションガイドラインの要点について説明できる。 2) 循環系の解剖生理学的な特性について説明できる。 3) 循環器疾患の病態と基本的な治療について説明できる。 4) 心・大血管リハビリテーションの概念を理解し、リスクの階層化について説明できる。 5) 心肺運動負荷試験をもとにした運動処方について説明できる。 6) 全身状態の観察とバイタルサインについて説明できる。 7) 心疾患患者に対する身体機能評価について説明できる。 8) 心電図による不整脈とリスク管理について説明できる。 9) 呼吸器障害に対する理学療法の概念について説明できる。 10) 呼吸系の構造と生理学的知識 11) 呼吸器障害に対する理学療法評価について説明できる。 12) 呼吸器障害に対する理学療法手技について説明できる。 13) 呼吸リハビリテーションの実際について説明できる。 14) 酸素療法と在宅酸素療法について説明できる。 15) 吸引における基本的な手技について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	心臓リハビリテーション・ガイドライン		
	授業内容			

1. 心臓リハビリテーションの定義について説明できる。
 2. 心臓リハビリテーションの時期的区分について説明できる。
 3. 各種身体機能評価法と指標について説明できる。
 4. サルコペニアとフレイルについて説明できる。
- (グループワーク)
(予習時間30分、復習時間30分)

2	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	循環系の構造と生理学的知識		
	授業内容	1. 心臓の構造について説明できる。 2. 刺激伝導系の構造と機能について説明できる。 3. 肺循環と体循環について説明できる。 5. 血圧と心拍の調節機構について説明できる。 (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・甘利・新井		
	テーマ	循環器疾患の病態と基本的な治療 1		
	授業内容	1. 急性冠症候群について説明できる。 2. 虚血性心疾患の病態について説明できる。 3. 虚血性心疾患の評価について説明できる。 4. 虚血性心疾患に対する治療について説明できる。 (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・甘利・新井		
	テーマ	循環器疾患の病態と基本的な治療 2		
	授業内容	1. 心不全の定義について説明できる。 2. 心不全の病態について説明できる。 3. 心不全の病態評価について説明できる。 4. 心不全の治療について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・甘利・新井		
	テーマ	心臓リハビリテーションのリスク管理		
	授業内容	1. 心臓リハビリテーションの進め方について説明できる 2. 心臓リハビリテーションのリスク管理について説明できる 3. 心臓リハビリテーションに必要な評価について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・甘利・新井		
	テーマ	全身状態の観察とバイタルサイン		
	授業内容	1. モニタリングの時間軸と考え方について説明できる。 2. 脈拍と血圧の測定について説明できる。 3. Nohria-Stevenson分類について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	心肺運動負荷試験		

授業内容		1. 心肺運動負荷試験の意義について説明できる 2. 心肺運動負荷試験の方法について説明できる 3. 嫌気性代謝閾値について説明できる 4. 心肺運動負荷試験に基づく運動処方について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	身体機能の評価		
	授業内容	1. サルコペニアの概念と診断について説明できる。 2. フレイルの概念とJ-GHS診断基準について説明できる。 3. 握力とバランステストについて説明できる。 4. SPPBの評価方法について説明できる。 (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心電図の診方(基本)		
	授業内容	1. 刺激伝導系と基本波形について説明できる 2. 12誘導心電図の誘導について説明できる 3. 心拍数の数え方について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心電図の診方(不整脈)		
	授業内容	1. 不整脈の分類について説明できる 2. 期外収縮および修正Lown分類について説明できる 3. 房室伝導障害について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心電図の診方(心筋梗塞)		
	授業内容	1. 心筋梗塞の特徴的な波形について説明できる 2. 梗塞部位の診断について説明できる 3. 心筋梗塞後の心電図の経時的変化を説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心電図の診方(心筋梗塞)		
	授業内容	1. 心筋梗塞の特徴的な波形について説明できる。 2. 梗塞部位の診断について説明できる。 3. 心筋梗塞後の心電図の経時的変化を説明できる。 (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	運動療法と運動中の生体反応のモニタリング		
	授業内容			

1. ウォーミングアップとクールダウンについて説明できる
2. 持久力トレーニングについて説明できる
3. レジスタンストレーニングについて説明できる
4. 呼吸筋トレーニングについて説明できる
(グループワーク)
(予習時間30分、復習時間30分)

14	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	疾病管理のための教育・指導方法と心疾患患者のADL・QOL		
	授業内容	1. 心疾患患者に対する運動療法とエビデンスについて説明できる 2. 心疾患患者に対する運動指導について説明できる 3. 心疾患患者に対するセルフモニタリングについて説明できる 4. 心疾患患者に対する多職種での関わりについて説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心臓外科術後の理学療法(心臓移植と人工補助心臓を含む)		
	授業内容	1. 心臓外科手術の適応について説明できる 2. 離床開始基準について説明できる 3. 心臓移植の現状について説明できる 4. 人工補助心臓について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	飛田・新井・甘利		
	テーマ	心筋梗塞に対する理学療法演習(症例検討)		
	授業内容	1. カルテからの情報収集について説明できる 2. 情報収集に基づく病態評価について説明できる 3. 模擬症例のバイタルサインの変化について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高橋・飛田・甘利・新井		
	テーマ	心大血管リハビリテーションの実際(症例検討)		
	授業内容	1. 心筋梗塞後後の医学情報について説明できる 2. 心筋梗塞後後の障害像について説明できる 3. 心筋梗塞後の理学療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	木村・飛田・甘利・新井		
	テーマ	心大血管リハビリテーションの実際(症例検討)		
	授業内容	1. 心臓外科術後の医学情報について説明できる 2. 心臓外科術後の障害像について説明できる 3. 心臓外科術後の理学療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーション総論		
	授業内容			

1. 呼吸リハビリテーションの定義について説明できる
2. 呼吸のメカニズムについて説明できる
3. 呼吸不全の病態について説明できる
(グループワーク)
(予習時間30分、復習時間30分)

20	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーション各論		
	授業内容	1. 入院の呼吸リハビリテーションについて説明できる 2. 外来での呼吸リハビリテーションについて説明できる 3. 在宅での呼吸リハビリテーションについて説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・高山・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーションの評価 1		
	授業内容	1. フィジカルアセスメントについて説明できる 2. 呼吸機能の評価、血液ガス分析について説明できる 3. 胸部X線画像による評価について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・高山・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーションの評価 2		
	授業内容	1. 呼吸困難の評価について説明できる 2. 呼吸音の評価・肺音の分類について説明できる 3. スパイロメータを用いた評価について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高山・甘利・飛田・新井		
	テーマ	呼吸理学療法・COPD		
	授業内容	1. コンディショニングの基本手技について説明できる 2. スクイーズの基本手技について説明できる 3. 運動療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高山・飛田・新井・甘利		
	テーマ	呼吸理学療法・周術期		
	授業内容	1. 術前の患者評価について説明できる 2. 術後患者の評価・理学療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高木・甘利・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーションの実際(症例検討)		
	授業内容	1. 肺術後症例の医学情報について説明できる 2. 肺術後症例の障害像について説明できる 3. サルコペニア・フレイルについて説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		

26	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高木・甘利・飛田・新井		
	テーマ	呼吸リハビリテーションの実際(症例検討)		
	授業内容	1. 肺術後症例の医学情報について説明できる 2. 肺術後症例の障害像について説明できる 3. 肺術後症例の理学療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・高山・飛田・新井		
	テーマ	酸素療法と在宅酸素療法		
	授業内容	1. 酸素療法の適応について説明できる 2. 人工呼吸器について説明できる 3. 在宅酸素療法について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・高山・飛田・新井		
	テーマ	吸引と標準予防策		
	授業内容	1. 吸引の適応について説明できる 2. 口腔内吸引の基本的な手技について説明できる 3. 標準予防策について説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・飛田・高山・新井		
	テーマ	症例検討(閉塞性肺疾患)		
	授業内容	1. カルテからの情報収集について説明できる 2. 情報収集に基づく病態評価について説明できる 3. 模擬症例に対して適切な理学療法プログラムを説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	甘利・飛田・高山・新井		
	テーマ	症例検討(拘束性肺疾患)		
	授業内容	1. カルテからの情報収集について説明できる 2. 情報収集に基づく病態評価について説明できる 3. 模擬症例に対して適切な理学療法プログラムを説明できる (グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 出席状況、授業態度、課題、定期試験(MCQおよび記述試験)などにより、総合的に評価する。再試験有り。		
教科書		1. 循環器リハビリテーションの理論と技術、増田卓・松永篤彦、メジカルビュー社 2. 動画でわかる 呼吸リハビリテーション、高橋仁美他編、中山書店		
参考書		1. フィジカルアセスメント 徹底ガイド 呼吸、高橋仁美他編、中山書店 2. その他、適宜資料の配布を行う。		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【担当教員共通】 月曜日 9:00-16:00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 【新井智之】E-mail: arai_tm@saitama-med.ac.jp		

	【飛田和基】E-mail : k_tobita@saitama-med.ac.jp 【甘利貴志】E-mail : k_tobita@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	○授業前日には参考書から該当部分を予習し、授業内容の事前学習を行うこと（予習時間30分、復習時間30分）。 ○症例検討を設けてあり、配布資料を元に小グループでのグループワークとディスカッションならびに発表を行うため、積極的な授業態度や発言が求められる。 ○授業では講義と演習的な授業が含まれる。そのため、適宜指示のある服装で望むこと。

講義名	理学療法臨床入門		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	木曜日	代表時限	4限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・赤坂 清和・國澤 洋介・新井 智之・澤田 豊・金井 欣秀・小関 要作・師岡 祐輔・森田 泰裕・清水 夏生・服部 寛
科目の目標	これまでに学習してきた基礎医学分野および理学療法専門領域の知識・技能を整理統合する。各種課題を通じて、模擬症例を想定して演習を行うアクティブラーニング形式の授業である。機能・能力診断学臨床実習に備えて総合的な知識・技能の修得を行う授業とする。
学習の具体的な目標	1) 診療録を適切に作成できる。 2) リハビリテーション実施計画書を適切に作成できる。 3) 中枢神経疾患の基本的な評価と理学療法を適切に実施できる。 4) 股関節疾患に対する基本的な評価と治療を適切に実施できる。 5) 肩・膝関節疾患に対する基本的な評価と治療を適切に実施できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	総論		
	授業内容	1. 授業の目的と進め方を適切に説明できる。 2. 客観的臨床試験（OSCE）の歴史と意義を適切に説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	診療録		
	授業内容	1. 診療録の書き方を適切に説明できる。 2. 日々の診療録をSOAP形式で適切に作成することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者	高倉・清水			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	総合実施計画書		
	授業内容	1. 模擬症例の状態を実施計画書に適切に記載して、適切に説明することができる。 2. 模擬症例の基本計画と目標、プログラムを本人役・家族役と相談しながら適切に作成することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	5限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	清水・高倉			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
13	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	脳血管障害		
	授業内容	1. 脳血管障害の基本的な評価を实践できる。 2. 脳血管障害の基本的な理学療法を適切に实践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	清水・高倉		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・森田		
	テーマ	股関節		
	授業内容	1. 大腿骨近位部骨折後の評価項目を適切に抽出できる。 2. 大腿骨近位部骨折に対する評価を適切に实践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・森田		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	肩関節		
	授業内容	1. 肩関節における整形外科的徒手検査を適切に実施できる。 2. 肩関節における整形外科的徒手検査の結果について適切に判断できる。 3. 肩関節における整形外科的徒手検査結果について適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	新井・森田		
	テーマ	股関節		
	授業内容	1. 大腿骨近位部骨折後の評価項目を適切に抽出できる。 2. 大腿骨近位部骨折に対する評価を適切に实践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者	新井・森田			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
21	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	肩関節		
	授業内容	1. 肩関節における整形外科的徒手検査を適切に実施できる。 2. 肩関節における整形外科的徒手検査の結果について適切に判断できる。 3. 肩関節における整形外科的徒手検査結果について適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・國澤・金井・小関・師岡		
	テーマ	総合実施計画書		
	授業内容	1. 模擬症例の状態を実施計画書に適切に記載して、適切に説明することができる。 2. 模擬症例の基本計画と目標、プログラムを本人役・家族役と相談しながら適切に作成することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水・國澤・金井・小関・師岡		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	膝関節		
	授業内容	1. 膝関節における整形外科的徒手検査を適切に実施できる。 2. 膝関節における整形外科的徒手検査の結果について適切に判断できる。 3. 膝関節における整形外科的徒手検査結果について適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	脳血管障害		
	授業内容	1. 脳血管障害の基本的な評価を適切に実践できる。 2. 脳血管障害の基本的な理学療法を適切に実践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者	高倉・清水			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
29	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	膝関節		
	授業内容	1. 膝関節における整形外科的徒手検査を適切に実施できる。 2. 膝関節における整形外科的徒手検査の結果について適切に判断できる。 3. 膝関節における整形外科的徒手検査結果について適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 出席状況、授業態度、課題やレポート、実技試験（OSCE）などから総合的に評価する。また、レポートについては返却時にコメントを返す。 2. 実技試験（OSCE）を行う。試験では理学療法学科全教員に実習指導者と他校教員が加わる。 3. 期末テストは行わない。 4. 不合格者に対する再試験は行わない。
教科書	各講師が資料を配布する。
参考書	1. 中枢神経系理学療法学 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト5、柳澤 健 編、メジカルビュー社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉 保幸】 火曜日12:00～13:00 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールでアポイントメントを取ること。 メールアドレス：takakura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には実習書の該当部分を予習し、教科書や参考書で実習内容の意味を理解しておくこと。また、実習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。なお、総合臨床実習に行くためには、その年度のOSCEに合格することが必要です。

講義名	義肢装具学演習		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 小関 要作	理学療法学科教員

担当教員	小関 要作・高倉 保幸・金井 欣秀・清水 夏生・中野 克己・名和 大輔
科目の目標	義肢装具の基本知識を習得し、義肢装具の適応を検討できること、また義肢装具のチェックアウト、装着指導、および義肢装具を併用した理学療法を実施できる。
学習の具体的な目標	講義とグループワーク、ディスカッション、実技演習を通して以下の学修目標を修得する。 1) 下肢装具の適応を検討し、チェックアウト、装着指導、理学療法を実施できる。 2) 上肢・体幹装具の適応を検討し、チェックアウト、装着指導を実施できる。 3) 小児用装具の適応を検討し、チェックアウト、装着指導を実施できる。 4) 各種義足の適応を検討し、チェックアウト、装着指導、理学療法を実施できる。 5) 義手の基礎知識を説明できる。 6) 切断者の理学療法を実施できる。 上記目標を達成するために、知識習得のためには、基礎事項を講義しその知識をもとに臨床的問題点の解決を目的としたグループディスカッションとプレゼンテーションを実施する。補装具の装着方法や理学療法技術の習得のためには、演習および臨床的問題点の解決を目的としたグループワークおよびディスカッション、プレゼンテーションを実施する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	装具総論・短下肢装具		
	授業内容	1. 装具の目的と分類を説明できる。 2. 短下肢装具の目的を説明し、種類と特徴を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	短下肢装具		
	授業内容	1. 短下肢装具の種類と特徴、適応を他者に説明できる。（グループディスカッション） （予習時間30分、復習時間30分）		

3	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	長下肢装具		
	授業内容	1. 長下肢装具の種類と特徴、適応を他者に説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	短下肢装具演習		
	授業内容	1. 短下肢装具のチェックアウトができる。(実習) 2. 短下肢装具の装着指導ができる。(実習) 3. 短下肢装具が歩行に及ぼす作用を体験し、説明できる。(実習) (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	長下肢装具演習		
	授業内容	1. 長下肢装具のチェックアウトができる。(実習) 2. 長下肢装具の装着指導ができる。(実習) 3. 長下肢装具を装着した基本動作・歩行指導ができる。(実習) (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	体幹装具、対麻痺用下肢装具		
	授業内容	1. 体幹装具の種類と特徴、適応を他者に説明できる。(グループディスカッション) 2. 体幹装具のチェックアウトと装着指導ができる。(実習) 3. 対麻痺用下肢装具の種類と適応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	膝装具、股装具、免荷装具、靴型装具の基礎		
	授業内容	1. 膝装具、股装具、免荷装具の種類と特徴、適応を説明できる。 2. 靴型装具の種類と特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	上肢装具		
	授業内容	1. 上肢装具の種類と特徴、適応を説明できる。 2. 上肢装具のチェックアウトを説明できる。 3. 上肢装具の装着指導ができる。(実習) (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		

担当者	中野・小関			
テーマ	下肢装具と歩行 1			
授業内容	1. 下肢装具が歩行に及ぼす影響を説明できる。 2. 歩行を観察し、装具の問題を説明できる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	中野・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	名和・小関		
	テーマ	靴型装具		
	授業内容	1. 靴型装具の種類と特徴、適応を説明できる。 2. 靴型装具のチェックアウトを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	中野・小関		
	テーマ	下肢装具と歩行 2		
	授業内容	1. 下肢装具が歩行に及ぼす影響を説明できる。 2. 歩行を観察し、装具の問題を説明できる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	中野・小関		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	金井		
	テーマ	小児用装具、側弯症装具		
	授業内容	1. 小児用装具の種類と特徴、適応を説明できる。 2. 側弯症装具の種類と特徴、適応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	切断・義肢総論、下腿義足		
	授業内容	1. 切断と義肢の基礎知識を説明できる。 2. 下腿義足の基礎知識を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	"		
	授業内容	1. 下腿義足の種類と特徴 2. 下腿義足の適応を説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	5限

講義室	運動療法実習室2			
担当者	小関・清水			
テーマ	下腿義足			
授業内容	1. 下腿義足の臨床的知識を説明できる。 2. 下腿義足例に対する義足アライメント修正方法を説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)			
19	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	大腿義足		
	授業内容	1. 大腿義足の基礎知識を説明できる。 2. 大腿義足の種類と特徴、適応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	1. 大腿義足の臨床的知識を説明できる。 2. 大腿義足例の異常歩行と原因について他者に説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	股義足, その他の義足		
	授業内容	1. 股義足・膝義足・その他の義足の種類と特徴、適応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法①-予備知識と医学的情報収集-		
	授業内容	1. 下肢切断の予備知識と医学的情報収集を他者に説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法②-術前評価		
	授業内容	1. 下肢切断術の術前評価項目を抽出し内容を説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法③-術前練習		
	授業内容	1. 下肢切断術前の理学療法プログラムを抽出し内容を説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	小関・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法④-術後評価		
	授業内容	1. 下肢切断術後の評価項目を抽出し内容を説明できる。(グループディスカッション) (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	2限

講義室	運動療法実習室2			
担当者	小関・清水			
テーマ	義手			
授業内容	1. 義手の種類と特徴、適応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
27	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・高倉・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法⑤-義肢装着前練習(前半組) 総合演習(前半組)		
	授業内容	下肢切断者の理学療法⑤-義肢装着前練習(前半組) 1. 下肢切断術後の断端管理と下肢義足装着前までの下肢切断者の理学療法を実践できる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分) 総合演習(前半組) 1. 下肢装具の適合を調整できる。(実技) 2. 上肢装具の装着とチェックアウト、装具療法を指導できる。(実技) 3. 義足のアライメント調整ができる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・高倉・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法⑥-義足練習(前半組) 総合演習(前半組)		
	授業内容	下肢切断者の理学療法⑥-義足練習(前半組) 1. 下肢切断者の義足練習を実践できる(実技) (予習時間30分、復習時間30分) 総合演習(前半組) 1. 下肢装具の適合を調整できる。(実技) 2. 上肢装具の装着とチェックアウト、装具療法を指導できる。(実技) 3. 義足のアライメント調整ができる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・高倉・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法⑤-義肢装着前練習(後半組) 総合演習(後半組)		
	授業内容	下肢切断者の理学療法⑤-義肢装着前練習(後半組) 1. 下肢切断術後の断端管理と下肢義足装着前までの下肢切断者の理学療法を実践できる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分) 総合演習(後半組) 1. 下肢装具の適合を調整できる。(実技) 2. 上肢装具の装着とチェックアウト、装具療法を指導できる。(実技) 3. 義足のアライメント調整ができる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月20日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2・ADL実習室		
	担当者	小関・高倉・清水		
	テーマ	下肢切断者の理学療法⑥-義足練習(後半組) 総合演習(後半組)		
	授業内容	下肢切断者の理学療法⑥-義足練習(後半組) 1. 下肢切断者の義足練習を実践できる(実技) (予習時間30分、復習時間30分) 総合演習(後半組) 1. 下肢装具の適合を調整できる。(実技) 2. 上肢装具の装着とチェックアウト、装具療法を指導できる。(実技) 3. 義足のアライメント調整ができる。(実技) (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 授業態度、授業毎の確認課題（小テスト）、中間試験（2025年12月15日予定）、定期試験の成績を総合的に判断した評価する。 2. 中間試験の不合格者は中間試験終了後（2026年1月6日予定）に、定期試験の不合格者は追・再試験期間中に再試験を行う。
教科書	1. 義肢装具のチェックポイント第9版、日本整形外科学会他監修、医学書院
参考書	1. 切断のリハビリテーション 知っておきたい全プロセス、Barbara Engstrom、共同医書 2. Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法 第4版、細田多穂監修、医歯薬出版株式会社 3. 切断と義肢 第2版、澤村誠志、医歯薬出版株式会社 4. 装具学 第4版、日本義肢装具学会監修、医歯薬出版株式会社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーまたはWebclassを利用すること。 オフィスアワー：小関 要作：月曜日：9:00～12:00、火曜日12:10～13:10 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールでアポイントメントを取ること。 メールアドレス：y_koseki@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日までに該当部分を予習し、教科書で学習内容の意味を理解しておくこと。演習後には配布資料や教科書を利用し、手技の練習や知識の整理を怠らないこと。 毎授業、素足が出せるように短パンなどを着用の上、寒くないようにトレーニングウェアなどを着て出席すること。 服装は適宜連絡をする。また教室には必要な物（教科書や筆記用具等）以外は持ち込まず、かばんに入れてロッカーに保管すること。

講義名	筋骨格理学療法学演習Ⅱ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 赤坂 清和	理学療法学科教員

担当教員	赤坂 清和・澤田 豊・大久保 雄・服部 寛・長谷部悠葵・溝口 靖亮
科目の目標	頰椎、胸椎、腰椎、骨盤と前期に実施した上下肢の関節部位を除く四肢関節に関連する筋・骨格系理学療法を実施するために必要な基本的運動療法と部位別理学療法の評価と治療の実際について学ぶ。学習内容の理解を深めるために一部の授業ではアクティブラーニングに即して、PBL（問題解決型学習）によりそれまでの授業で学んだ理学療法に関するエビデンスを学生自身が調査してまとめるとともに、反転授業としてその結果を学生が発表することで共有しながら、理解を深めるように工夫を行う。
学習の具体的な目標	演習を通して以下の学習目標を修得する。 1. 頰椎、胸腰椎、骨盤障害の評価と理学療法について説明・実施できる。 2. 肘障害及び熱傷後の評価と理学療法について説明・実施できる。 3. 足部障害の評価と理学療法について説明・実施できる。 4. 手障害の評価と理学療法について説明・実施できる。 5. 脊椎から骨盤・肘・手・足関節について理学療法の科学的根拠を説明できる。 6. 疾患別理学療法評価を実施することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法（1-1）		
	授業内容	臨床実習で遭遇することが多い運動器疾患（肩関節、股関節、膝関節）のpaper patientを学生グループに提示し、理学療法の過程で行うべき評価及び目標と治療プログラムの立案し、発表する。その過程で実施する評価項目や理学療法の実技内容を教員とともに小グループにてバズ学習の原理により学習を進める。なお、登校日により、paper patientを変更する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法（1-2）		
	授業内容	〃		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (1-3)		
	授業内容	〃		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (1-4)		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (2-1)		
	授業内容	臨床実習で遭遇することが多い運動器疾患(肩関節、股関節、膝関節)のpaper patientを学生グループに提示し、理学療法の過程で行うべき評価及び目標と治療プログラムの立案し、発表する。その過程で実施する評価項目や理学療法の実技内容を教員とともに小グループにてバズ学習の原理により学習を進める。なお、登校日により、paper patientを変更する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (2-2)		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (2-3)		
	授業内容	〃		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (2-4)		
	授業内容	〃		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (3-1)		
	授業内容	臨床実習で遭遇することが多い運動器疾患(肩関節、股関節、膝関節)のpaper patientを学生グループに提示し、理学療法の過程で行うべき評価及び目標と治療プログラムの立案し、発表する。その過程で実施する評価項目や理学療法の実技内容を教員とともに小グループにてバズ学習の原理により学習を進める。なお、登校日により、paper patientを変更する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法 (3-2)		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	3限

講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室			
担当者	澤田・大久保・服部			
テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法（3-3）			
授業内容	〃			
12	年月日（曜日）	令和 7年10月15日（水）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1・運動療法実習室2・物理療法実習室		
	担当者	澤田・大久保・服部		
	テーマ	【アクティブラーニング】疾患別理学療法（3-4）		
	授業内容	〃		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月26日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・服部		
	テーマ	頸部の疾患及び外傷に対する評価と理学療法（1）		
	授業内容	頸部に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月26日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田		
	テーマ	頸部の疾患及び外傷に対する評価と理学療法（2）		
	授業内容	〃		
15	年月日（曜日）	令和 7年12月03日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	胸部・腰部・仙腸関節に対する理学療法（1）		
	授業内容	胸部・腰部・仙腸関節に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年12月03日（水）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	胸部・腰部・仙腸関節に対する理学療法（2）		
	授業内容	〃		
17	年月日（曜日）	令和 7年12月03日（水）	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	胸部・腰部・仙腸関節に対する理学療法（3）		
	授業内容	〃		
18	年月日（曜日）	令和 7年12月03日（水）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保・服部		
	テーマ	胸部・腰部・仙腸関節に対する理学療法（4）		
	授業内容	〃		
19	年月日（曜日）	令和 7年12月10日（水）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肘・前腕・手関節・手部・足関節・足部・上肢及び下肢の神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンス（1）		
	授業内容			

1. 【PBL（問題解決型学習）】足・肘・手関節・神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題を見つけて解決する。
2. 【反転授業（自宅で課題を行い、授業でアウトプットする）】ランダムに1/3classが発表する。（1人10分）
（予習時間60分、復習時間30分）

20	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肘・前腕・手関節・手部・足関節・足部・上肢及び下肢の神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンス(2)		
	授業内容	1. 【PBL（問題解決型学習）】足・肘・手関節・神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題を見つけて解決する。 2. 【反転授業（自宅で課題を行い、授業でアウトプットする）】ランダムに1/3classが発表する。（1人10分） （予習時間60分、復習時間30分）		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・澤田		
	テーマ	肘関節・前腕疾患および外傷に対する理学療法(1)		
	授業内容	肘関節・前腕疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部・澤田		
	テーマ	肘関節・前腕疾患および外傷に対する理学療法(2)		
	授業内容	肘関節・前腕疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	手関節・手部疾患および外傷に対する理学療法		
	授業内容	手関節・手部疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
24	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	上肢の神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーション(1)		
	授業内容	手関節・手部疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
25	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	上肢の神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーション(2)		
	授業内容	足関節・足部疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	足関節・足部疾患および外傷に対する理学療法		
	授業内容	足関節・足部疾患に対する理学療法を説明し、実践することが出来る。 （予習時間30分、復習時間30分）		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	澤田・服部			
テーマ	下肢の神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーション(1)			
授業内容	神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーションを説明し、実践することが出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)			
28	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田・服部		
	テーマ	下肢の神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーション(2)		
	授業内容	神経ダイナミクス検査・神経モビライゼーションを説明し、実践することが出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肘・前腕・手関節・手部・足関節・足部・上肢及び下肢の神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンス (3)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】足・肘・手関節・神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題を見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂・澤田・大久保・服部・長谷部・溝口		
	テーマ	【アクティブラーニング・発表会】肘・前腕・手関節・手部・足関節・足部・上肢及び下肢の神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンス (4)		
	授業内容	1. 【PBL(問題解決型学習)】足・肘・手関節・神経モビライゼーションに対する理学療法のエビデンスを学生自身が問題見つけて解決する。 2. 【反転授業(自宅で課題を行い、授業でアウトプットする)】ランダムに1/3classが発表する。(1人10分) (予習時間60分、復習時間30分)		

評価方法	出席状況と授業態度、課題やレポート、定期試験期間中に行う期末試験(75%、追再試は1度のみ)などにより、総合的に評価する。また、レポート提出に対しコメントを返す。
教科書	1. エビデンスに基づく整形外科徒手検査、柳澤健、赤坂清和 監訳、エルゼビア・ジャパン 2. メイトランド 四肢関節マニピュレーション、Elly Hengeveld他編、医学映像教育センター
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【赤坂 清和】 月曜日と金曜日の13-16時とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合には、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : akasaka@saitama-med. ac. jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には実習書の該当部分を予習し、教科書で実習内容の意味を理解しておくこと。また、毎回の授業後には、各関節に対する理学療法のエビデンス発表のための学習を行い、発表週の月曜日正午までにWordファイルとPowerPointファイルを作成し、2つのファイルはwebclassの本科目のフォルダーに提出するものとし、ファイル名を学籍番号＋氏名としてアップロードすることとする。

講義名	中枢神経理学療法学演習Ⅱ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 師岡 祐輔	理学療法学科教員

担当教員	師岡 祐輔・國澤 洋介・高倉 保幸・清水 夏生・岩崎 寛之・大久保裕也・鈴木 翔太・松本絵美子
科目の目標	脊髄損傷者の障害像、理学療法評価および代償手段などを理解し、脊髄損傷者に対する理学療法計画の立案やプログラム実施におけるポイントを整理する。 中枢神経系理学療法の運動制御・運動学習の理論背景と運動制御・運動学習理論に基づく理学療法計画について学ぶ。 中枢神経疾患の障害増や理学療法評価などを理解し、理学療法計画の立案やプログラム実施におけるポイントを学ぶ。
学習の具体的な目標	実技演習・グループワークを用い以下の学習目標の到達を図る。 1) 脊髄損傷の疫学、障害像を理解し、説明できる。 2) 脊髄損傷者に対する理学療法評価を理解し、実施できる。 3) 脊髄損傷者に対する急性期の理学療法を理解し、実施できる。 4) 脊髄損傷者に対する動作指導、動作介助を理解し、実施できる。 5) 脊髄損傷者の日常生活に必要な補装具を理解し、説明できる。 6) 脊髄損傷者の理学療法計画を立案できる。 7) 中枢神経系理学療法の運動制御・運動学習の理論背景を説明できる。 8) 運動制御・運動学習理論に基づく理学療法計画について説明できる。 9) 中枢神経疾患に対する理学療法評価を理解し、説明できる。 10) 中枢神経疾患に対する理学療法計画を立案できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎・鈴木		
	テーマ	中枢神経理学療法学総論①		
	授業内容	1. 中枢神経疾患に対する理学療法の一連の流れを理解できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎・鈴木		

テーマ	〃			
授業内容	〃			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	脊髄損傷の理学療法の理解		
	授業内容	1. 脊髄損傷の疫学、障害像を理解し、説明できる。 2. 脊髄損傷者の理学療法評価法を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤・大久保・岩崎・鈴木		
	テーマ	脊髄損傷の評価		
	授業内容	1. 脊髄損傷者の理学療法評価を理解し、実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤・大久保・岩崎・鈴木		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎		
	テーマ	中枢神経理学療法学総論②		
	授業内容	1. 中枢神経疾患に対する理学療法の一連の流れを理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	脊髄損傷の理学療法(急性期)		
	授業内容	1. 急性期に生じる脊髄損傷者の合併症とその対応を理解し、説明できる。 2. 脊髄損傷者に対する急性期の理学療法を理解し、実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	師岡・國澤・大久保			
テーマ	脊髄損傷の理学療法（回復期）①			
授業内容	1. 脊髄損傷者に対する動作指導、動作介助を理解し、実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
12	年月日（曜日）	令和 7年12月08日（月）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日（曜日）	令和 7年12月11日（木）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	運動制御・運動学習の理論背景		
	授業内容	1. 運動制御に関する用語や理論について説明できる。 2. 運動学習に関する用語や理論について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年12月11日（木）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日（曜日）	令和 7年12月15日（月）	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	脊髄損傷の理学療法（回復期）②		
	授業内容	1. 脊髄損傷者に対する動作指導、動作介助を理解し、実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年12月15日（月）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日（曜日）	令和 7年12月18日（木）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	運動制御・運動学習理論に基づく理学療法計画		
	授業内容	1. 模擬症例に対して、運動制御理論に基づく理学療法計画を立案できる。 2. 模擬症例に対して、運動学習理論に基づく理学療法計画を立案できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年12月18日（木）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
19	年月日（曜日）	令和 7年12月22日（月）	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・松本		
	テーマ	脊髄損傷の理学療法（生活期）		

授業内容	1. 在宅における脊髄損傷者の生活（活動・参加）について理解し、説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
20	年月日（曜日）	令和 7年12月22日（月）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・松本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
21	年月日（曜日）	令和 8年01月05日（月）	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	脊髄損傷の理学療法（回復期）③		
	授業内容	1. 脊髄損傷者に対する動作指導、動作介助を理解し、実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日（曜日）	令和 8年01月05日（月）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1・ADL実習室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
23	年月日（曜日）	令和 8年01月08日（木）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・師岡・大久保		
	テーマ	不全脊髄損傷の理学療法①		
	授業内容	1. 不全頸髄損傷者の障害像・理学療法計画のポイントを理解し、説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
24	年月日（曜日）	令和 8年01月08日（木）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・師岡・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日（曜日）	令和 8年01月15日（木）	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・師岡・大久保		
	テーマ	不全頸髄損傷の理学療法②		
	授業内容	1. 事例を通し、適切な治療目標やプログラムが立案できる （予習時間30分、復習時間30分）		
26	年月日（曜日）	令和 8年01月15日（木）	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・師岡・大久保		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
27	年月日（曜日）	令和 8年01月19日（月）	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・大久保		
	テーマ	不全頸髄損傷の理学療法③		
	授業内容	1. 事例を通し、適切な治療目標やプログラムが立案できる （予習時間30分、復習時間30分）		
28	年月日（曜日）	令和 8年01月19日（月）	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者	師岡・國澤・大久保			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
29	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎・鈴木		
	テーマ	中枢神経理学療法学総論③		
	授業内容	1. 中枢神経疾患に対する理学療法の一連の流れやポイントを理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	師岡・國澤・岩崎・鈴木		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
評価方法	1. 定期試験（多肢選択式および論述式）の成績（80％）および、出席状況と授業態度（20％）で評価する。 2. 不合格者は定期試験終了後に再試験を行う。			
教科書	1. 脊髄損傷理学療法マニュアル、岩崎洋、文光堂 2. 授業毎に内容に沿った資料を配付する。			
参考書	1. 脳卒中に対する標準的理学療法介入、潮見泰蔵、文光堂 2. 頸髄損傷のリハビリテーション、二瓶隆一、協同医書 3. 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル、神奈川リハビリテーション病院 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル編集委員会、医学書院 4. 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト5中枢神経系理学療法学、柳澤健編、メジカルビュー社			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【師岡 祐輔】 月曜日の1時限目とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は事前にアポイントメントをとること。 E-mail：morooka@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。 2. 演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。 3. 演習時は必ず白衣（ケーシー）を着用すること。			

講義名	がん理学療法学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・國澤 洋介・清水 夏生・平岡 仁美
科目の目標	がん患者の抱える多様な問題点に対して、がん患者に多い有害事象に配慮しながら効果的ながん理学療法を 実践できることを目標とする。授業ではグループワークを行いながらアクティブラーニング形式で、がん理 学療法の理解を深める。
学習の具体的な目標	1. がん患者の理学療法について、基本的な評価・対応の仕方を説明できる。 2. 性差医療の視点からウィメンズヘルス・メンズヘルスの特徴と基本的な考え方を理解し、理学療法の基本 手技を実践できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・國澤・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション① がん総論		
	授業内容	1. がんとがん理学療法の特徴を説明できる。 2. がんのステージングについて説明できる。 3. がんの治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	平岡・高倉・國澤・清水		
	テーマ	ウィメンズヘルスと理学療法		
	授業内容	1. 婦人科がんで発生しやすい有害事象に対してウィメンズヘルスの視点から問題点と理学療法の考え方 について説明できる。 2. ウィメンズヘルスの視点から重要となる理学療法の基本的手技を実践できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		

担当者	高倉・國澤・清水			
テーマ	がんのリハビリテーション② 有害事象			
授業内容	1. 有害事象について説明できる。 2. 有害事象の評価について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・國澤・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション③ 有害事象		
	授業内容	1. 有害事象について説明できる。 2. 有害事象の評価について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・高倉・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション④ 目標設定とコミュニケーション		
	授業内容	1. ショートステップでの目標設定について説明できる。 2. がん患者におこりがちな心の問題について説明できる。 3. 心のケアについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・高倉・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション⑤ 終末期の対応		
	授業内容	1. トータルペインについて説明できる。 2. 終末期の対応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	國澤・高倉・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション⑥ 骨転移などのリスク管理		
	授業内容	1. 骨転移の分類について説明できる。 2. 骨転移の評価について説明できる。 3. 骨転移例に対する理学療法上の進め方について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	高倉・國澤・清水		
	テーマ	がんのリハビリテーション⑦ リンパ浮腫		
	授業内容	1. リンパ浮腫の病態、疫学、治療法について説明できる。 2. リンパ浮腫に対する指導ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 成績は出席日数、授業態度、小テスト、レポート、期末試験などから総合的に評価して判定する。また、レポートについては返却時にコメントを返す。			
教科書	プリントを配布する。			
参考書	1. がんのリハビリテーションベストプラクティス（第1版）、日本がんリハビリテーション研究会編、金原出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉 保幸】 金曜日12：00～13：00			

	それ以外の時間で面接希望者は事前にメールにてアポイントメントを取ること。 メールアドレス : takakura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前には事前に配布した資料を予習し、授業後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めること。

講義名	発達理学療法学演習Ⅰ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 金井 欣秀	理学療法学科教員

担当教員	金井 欣秀・清水 夏生・菅沼 雄一・守岡 義紀
科目の目標	1. 小児期に生じた疾病やその疾病から生じる障害を有する子どもや大人に実施される発達領域における理学療法の基本的な評価・治療について説明できること。 2. 小児期に生じた疾病やその疾病から生じる障害を有する子どもや大人を支援するための法・制度を理解し、それらの障害にかかわる理学療法士が活躍する場所を説明できること。
学習の具体的な目標	本科目では教員の講義や、アクティブラーニングの一環としてPBL(Problem Based Learning or Project Based Learning：課題基盤型学習またはプロジェクト基盤型学習)型式での学生の学修を披露するプレゼンテーションや授業を主体として進行する。それらを通じて以下の具体的項目を達成する。 1) 発達理学療法領域の特性に即した評価項目を述べることができる。 2) 小児期に生じた疾病やその疾病から生じる障害に対する一般的な理学療法評価を行う際の留意点について説明し、評価結果を適切に解釈し判断できる。 3) 小児期に生じた疾病やその疾病から生じる障害を有する子ども・成人に対して実施する基本的な治療技術について説明することができる。 4) 小児期に生じた疾病やその疾病から生じる障害を有する子ども・成人に対して必要な支援機器を選択することができる。 5) 重症心身障害を抱える子ども・成人に対する理学療法の概要や基本的な考え方を説明できる。 6) 新生児集中治療室においてハイリスク新生児に適切な理学療法を行うために必要な知識について説明できる。 7) PBLの手法により課題を実施し、学生によるグループワークの結果として作成した資料に基づき学生がグループごとの講義を実施できる。
授業計画表	

1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	オリエンテーション		
	授業内容	1. Active Learningの概要を説明できる。 2. PBL (Problem Based Learning/Project Based Learning:課題基盤型学習またはプロジェクト基盤型学習) について説明できる。 3. 学生が実施する学生主体で行う講義準備のためのスケジュールリングができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	金井・清水			
テーマ	発達理学療法（つ小児理学療法）：生涯発達支援の観点			
授業内容	1. 広義と狭義の発達障害の違いについて説明できる。 2. 小児期の障害が生涯にわたり支援が必要な理由を説明できる。 3. 「療育」の概念について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生実施講義のためのチェックⅠ		
	授業内容	1. プレゼンテーションのための準備状況について教員に報告できる。 2. プレゼンテーションのためにレジュメを準備して、説明することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	広義の発達障害における理学療法評価Ⅰ		
	授業内容	1. 広義の発達障害における理学療法の評価についてその意義を説明できる。 2. 広義の発達障害における理学療法の主要な検査について述べるができる。 3. Gross Motor Function Classification System (GMFCS)を理解し、脳性麻痺の重症度を分類できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	広義の発達障害における理学療法評価Ⅱ		
	授業内容	1. Gross Motor Function Measure 66および88 (GMFM66・88)の概要を説明できる。 2. COPM (Canadian Occupational Performance Measure:カナダ作業遂行測定)の概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生実施講義のためのチェックⅡ		
	授業内容	1. プレゼンテーションのための準備状況について教員に報告できる。 2. プレゼンテーションのために準備したレジュメの概要について教員に説明することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生の実施する「脳性麻痺児・者の補装具と支援機器, 医学的治療」に関する講義		
	授業内容	1. 脳性麻痺児・者の理学療法で用いる支援機器について説明できる。 2. 障害者総合支援法に基づく補装具費支給の流れについて説明できる。 3. 医療保険での補装具作成の流れ、療養費の給付について説明できる。 4. 障害者総合支援法に基づく日常生活用具の給付について説明できる。 5. 脳性麻痺児・者に行う基本的な整形外科的手術、および手術が必要な理由について説明できる。 6. 脳性麻痺児・者に行う基本的な外科的手術、および手術が必要な理由について説明できる。 7. 脳性麻痺児・者の筋緊張緩和に用いるITB療法・ボツリヌス毒素療法について説明できる。 8. 脳性麻痺児・者への経管栄養について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生の実施する「狭義の発達障害や染色体異常を伴う小児・成人に実施する理学療法」に関する講義		
	授業内容			

1. 狭義の発達障害や染色体異常の病態の概要について説明できる。
2. 狭義の発達障害や染色体異常を伴う児・者への理学療法について説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生の実施する「障害児・者を取り巻く法と制度」に関する講義		
	授業内容	1. 身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳が交付される障害ならびに等級について説明できる。 2. 障害者総合支援法に基づく、障害支援区分、介護給付・訓練等給付のサービスについて説明できる。 3. 療育手帳と精神障害者保健福祉手帳の等級について説明できる。 4. 障害者雇用促進法に定められる現行の法定雇用率について答えられる。 5. 児童福祉法に基づく児童発達支援・放課後等デイサービス事業について説明できる。 6. 児童福祉法に基づき、乳児・幼児・少年の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	学生の実施する「側弯症・進行性筋疾患(Duchenne型筋ジストロフィーを中心に)に対する理学療法」に関する講義		
	授業内容	1. 側弯症の分類及び発生機序について説明できる。 2. 側弯症の二次障害について説明し、予防・緩和する方法を説明できる。 3. 側弯症の評価について説明できる。 4. レントゲン画像におけるCobb角の評価法を説明できる。 5. 側弯症に対する運動療法について説明できる。 6. 進行性筋疾患の分類について代表的なものを説明できる。 7. 進行性筋疾患で用いられる人工呼吸器について概要を述べるができる。 8. 進行性筋疾患の呼吸器の評価方法と評価の結果に基づいた理学療法について説明できる。 9. 進行性筋疾患の患者に対して行う理学療法の一部を健常者に対して実施することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	守岡・金井		
	テーマ	ハイリスク新生児に対する理学療法		
	授業内容	1. 新生児集中治療室における理学療法の概要を説明できる。 2. 新生児の哺乳機能の発達と介入方法について説明できる。 3. 新生児の呼吸機能の特徴と呼吸理学療法の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	守岡・金井		
	テーマ	ハイリスク新生児に対する理学療法		
	授業内容	1. 新生児集中治療室における理学療法の概要を説明できる。 2. 新生児の哺乳機能の発達と介入方法について説明できる。 3. 新生児の呼吸機能の特徴と呼吸理学療法の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	菅沼・金井		
	テーマ	重症心身障害児に対する理学療法		
	授業内容	1. 医療型障害児入所施設における理学療法の実際について概要を説明できる。 2. 重症心身障害児の臨床像の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	菅沼・金井		
	テーマ	重症心身障害児に対する理学療法		
	授業内容			

1. 医療型障害児入所施設における理学療法の実践について概要を説明できる。 2. 重症心身障害児の臨床像の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
15	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井・清水		
	テーマ	重症心身障害児・者を取り巻く状況		
	授業内容	1. 重症心身障害児・者の法的な根拠について説明できる。 2. 重症心身障害児・者の定義の歴史的な経緯について説明できる。 3. 医療型障害児入所施設を含む、重症心身障害児・者を取りまく公共サービスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 定期試験・中間確認テスト・発表レジュメ・授業での発言をはじめとした授業参加度により評価する。 2. 定期試験の再試験は原則として1回のみ実施する。		
教科書		授業毎に、内容に沿った資料を配布する。 学生主体の講義では学生が作成した講義資料を配布する。		
参考書		1. Marjolijn Ketelaar: 脳性まひ児と両親のための機能的治療アプローチ. 三輪書店 2. 吉川ひろみ: 作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド. 医学書院 3. 今川忠男: 発達障害児の新しい療育～こどもと家族とその未来のために～. 三輪書店 4. Rona Alexander・他: 機能的姿勢-運動スキルの発達: 誕生から1歳まで. 協同医学出版 5. Jung Sun Hong: 正常発達～脳性まひの治療アイデア～. 第2版. 三輪書店 6. 木原秀樹: 270動画でわかる赤ちゃんの発達地図. 新版. メディカ出版 7. MC Piper: 乳幼児の運動発達検査 AIMS アルバート乳幼児運動発達検査法. 医歯薬出版 8. Teresa EP: 脳性まひ児の24時間姿勢ケア. 三輪書店 9. 日本リハビリテーション医学会: 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン. 第2版. 金原出版 10. 日本リハビリテーション工学協会SIG姿勢保持: 小児から高齢者までの姿勢保持. 第2版. 医学書院 11. 井合瑞江: 重症心身障害療育マニュアル. 新版. 医歯薬出版 12. アメリカ産婦人科医学会: 脳性麻痺と新生児脳症: 最新の病因・病態. メジカルビュー社 13. Susann K: Physical therapy for children. 3rd Edition. Saunders 14. ダイアン・ラッセル: GMFM-粗大運動能力尺度: 脳性麻痺児のための評価的尺度. 医学書院 15. Stephen MH: PEDI: リハビリテーションのための子どもの能力低下評価法. 医歯薬出版 16. 遠城寺宗徳: 遠城寺式・乳幼児分析的発達検査法. 九州大学小児科改訂新装版. 慶應義塾大学出版会 17. Frankenburg WK: Denver II: デンバー発達判定法. 日本小児医事出版 18. 藪中良彦: 小児理学療法学. メジカルビュー 19. 上杉雅之: イラストでわかる小児理学療法学演習: 99のweb動画付. 医歯薬出版 20. 楠本泰士: 小児リハ評価ガイド. メジカルビュー 21. 栗國敦男: 脳性麻痺運動器治療マニュアル. メジカルビュー		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【金井 欣秀】 毎週木曜日12:10～13:10 上記の時間に訪問できない場合は、電子メールによりアポイントメントを取ること。メールアドレスは学生便覧参照のこと。		
履修上の注意、履修要件		・本科目は教員による講義と学生による講義で構成される。学生による講義では講義実施という課題も含めたPBLを実施し、学生主体で授業を進める。そのため授業時間内・外の準備として予習・復習時間を利用するグループワークにも主体的に参加することが期待される。また、PBLの理解を深めるために第1回目授業の前に事前学習動画を各自で視聴することは必須であり、授業内で小テストも行う。 ・学生による講義では学生グループが講師となって授業で報告し、教員がファシリテーターの役割を務める。そのためのレジュメ・発表準備を授業内でも行う。 ・発表時にはレジュメの読み上げは禁止する。 ・発表のデモンストレーション時に必要な物品等は学生が用意し、教員は学生の準備をサポートする。 ・グループワークの班分けについては初回授業の際に伝える。 ・授業内容は授業の進捗に応じて変更となることがある。 ・全15回の時間枠とは別に中間確認テストを実施する。予定日は6/12(木)3限としている。日時についてはあらためて周知を行う。中間確認テストの追・再試験は実施しない。中間確認テスト欠席者への対応として、評価方法で述べたように複数の指標により成績を評価する ・2年生以下に在籍している場合、上位学年科目としての履修は認めない。3年次以上に在籍していることが履修の必須条件である。 ・非常勤講師(外部講師)の予定については、講師の都合により変更することがある。変更があった場合には掲示板にて連絡する。		

講義名	発達理学療法学演習Ⅱ		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 金井 欣秀	理学療法学科教員

担当教員	金井 欣秀・川合 美奈・菅沼 雄一・守岡 義紀
科目の目標	発達理学療法学演習Ⅰで学んだ内容を基盤とし、臨床の実践に必要な技術の全部ないし一部を習得すること。
学習の具体的な目標	アクティブラーニングの手段として、講義と実技、グループワークやディスカッションを通して以下の学修目標を修得する。 1) 発達理学療法領域で実施する発達を促すような治療方法を説明できる。 2) 発達理学療法領域で実施する評価を一部実施できる。 3) 重症心身障害を抱える子ども・成人に対する理学療法の治療を健常者相手に一部実施できる。 4) 小児集中治療室におけるハイリスク児に対する理学療法の治療を健常者相手に一部実施できる。 5) 発達領域でのリハビリテーションにおける看護師をはじめとした他職種との連携の在り方について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	オリエンテーション・粗大運動の発達とハンドリング1		
	授業内容	1. 発達理学療法の対象となる小児についてモデル人形を用いて、愛護的に発達を促す方法を実施できる。 2. 発達理学療法の基礎となる粗大運動の発達や原始反射・姿勢反射/反応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	粗大運動の発達とハンドリング2		
	授業内容			

1. 発達理学療法の対象となる小児についてモデル人形を用いて、愛護的に発達を促す方法を実施できる。
2. 発達理学療法の対象となる小児について安全な起居動作とリスクについて説明できる。
3. 発達理学療法の対象となる小児についてモデル人形を用いて、安全なセット座位を促す方法を実施できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	症例に対する理学療法		
	授業内容	1. 発達理学療法の対象となる小児についてモデル人形を用いて、愛護的に発達を促す方法を実施できる。 2. 発達理学療法の対象となる小児についてモデル人形を用いて、安全な立位を促す方法を実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	症例に対する理学療法		
	授業内容	1. 発達理学療法の対象となる小児に対する適切な関節可動域練習について説明できる。 2. 発達理学療法の対象となる小児に対する関節可動域練習について健常者に対し、一部実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	脳性麻痺児に対する評価		
	授業内容	1. 脳性麻痺児の身体の変形について、模擬的に単純X線画像を用いた評価の方法を説明できる。 2. 脳性麻痺児の身体の変形について、模擬的に単純X線画像を用いた評価の一部実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	1限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	守岡・金井		
	テーマ	小児集中治療室 (Pediatric Intensive Care Unit:PICU)の理学療法		
	授業内容	1. PICUに入院するハイリスク児への理学療法に必要な治療の一部を健常成人相手に実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	2限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	守岡・金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	菅沼・金井		

テーマ	重症心身障害児・者への理学療法			
授業内容	1. 重症心身障害児・者への理学療法に必要な治療の一部を健常成人相手に実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	菅沼・金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	川合・金井		
	テーマ	発達領域でのリハビリテーションを担う看護師の役割の理解		
	授業内容	1. 発達領域におけるリハビリテーションの際の看護師の役割を説明できる。 2. 発達領域におけるリハビリテーションの際に看護師と理学療法士がどのように連携するかを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	川合・金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	4限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	広義の発達障害児への理学療法		
	授業内容	1. 広義の発達障害児の情報を統合し解釈した上でICFに基づいて説明できる。 2. 広義の発達障害児の抽出した問題点に基づいて治療方針並びにプログラムを列挙し、グループディスカッションが実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	5限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	金井		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
評価方法	出席状況、授業態度や授業参加度のルーブリック評価、定期試験から総合的に判断して評価する。			
教科書	授業毎に、必要に応じて内容に沿った資料を配布する。			
参考書	1. Marjolijn Ketelaar：脳性まひ児と両親のための機能的治療アプローチ。三輪書店 2. 吉川ひろみ：作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド。医学書院 3. 今川忠男：発達障害児の新しい療育～こどもと家族とその未来のために～。三輪書店 4. Rona Alexander・他：機能的姿勢-運動スキルの発達：誕生から1歳まで。協同医書出版 5. Jung Sun Hong：正常発達～脳性まひの治療アイデア～。第2版。三輪書店 6. 木原秀樹：270動画でわかる赤ちゃんの発達地図。新版。メディカ出版 7. MC Piper：乳幼児の運動発達検査 AIMS アルバータ乳幼児運動発達検査法。医歯薬出版 8. Teresa EP：脳性まひ児の24時間姿勢ケア。三輪書店 9. 日本リハビリテーション医学会：脳性麻痺リハビリテーションガイドライン。第2版。金原出版 10. 日本リハビリテーション工学協会SIG姿勢保持：小児から高齢者までの姿勢保持。第2版。医学書院 11. 井合瑞江：重症心身障害療育マニュアル。新版。医歯薬出版 12. アメリカ産婦人科医学会：脳性麻痺と新生児脳症：最新の病因・病態。メジカルビュー社 13. Susann K:Physical therapy for children. 3rd Edition. Saunders 14. ダイアン・ラッセル：GMFM-粗大運動能力尺度：脳性麻痺児のための評価的尺度。医学書院 15. Stephen MH:PEDI：リハビリテーションのための子どもの能力低下評価法。医歯薬出版 16. 遠城寺宗徳：遠城寺式・乳幼児分析的発達検査法。九州大学小児科改訂新装版。慶應義塾大学出版会 17. Frankenburg WK：DenverII：デンバー発達判定法。日本小児医事出版 18. 藪中良彦：小児理学療法学。メジカルビュー 19. 上杉雅之：イラストでわかる小児理学療法学演習：99のweb動画付。医歯薬出版 20. 楠本泰士：小児リハ評価ガイド。メジカルビュー 21. 栗園敦男：脳性麻痺運動器治療マニュアル。メジカルビュー			

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【金井 欣秀】 毎週火曜日12：10～13：10 上記の時間に訪問できない場合は、電子メールによりアポイントメントを取ってください。メールアドレスは学生便覧参照のこと。
履修上の注意、履修要件	本科目は講義・演習で構成される。そのため、実技練習を実施するため、動きやすい服装あるいは実習義で出席すること。 授業内容は授業の進捗に応じて変更となることがある。 非常勤講師（外部講師）の予定については、講師の都合により変更することがある。変更があった場合には別途連絡する。 2年生以下に在籍している学生の上位学年科目としての履修は認めない。3年次に在籍し、発達心理学療法学演習Ⅰの単位を取得していることが必須条件である。

講義名	地域理学療法学		
(副題)	専門分野（地域理学療法学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 新井 智之	理学療法学科教員

担当教員	新井 智之・森田 泰裕・三浦 佳代・飛田 和基・甘利 貴志
科目の目標	理学療法士が活動する領域において、急性期や回復期におけるリハビリテーションは重要である。そのようなリハビリテーションサービスを受けた対象者が、生活する場に帰り地域での生活を営むためには、地域リハビリテーションサービスが重要な位置づけをしめる。地域リハビリテーションに関わるために、介護保険制度が生まれた背景を理解するとともに、現在の認定制度を理解する。その上で、領域別のリハビリテーションサービスを理解し、理学療法士としての役割について学ぶ。
学習の具体的な目標	講義とグループワークを通して以下の学習目標を習得する。 1. 介護保険制度の背景について説明できる。 2. 介護保険制度の等級とサービスについて説明できる。 3. 急性期から回復期における地域連携パスが説明できる。 4. 通所リハビリテーションサービスにおける理学療法士の役割について説明できる。 5. 訪問リハビリテーションサービスにおける理学療法士の役割について説明できる。 6. 介護予防における理学療法について説明できる。 7. 入所リハビリテーションについて説明できる。 8. 地域理学療法における理学療法士の役割について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・飛田		
	テーマ	地域理学療法と介護保険制度		
	授業内容	1. 地域リハビリテーションにおける各種サービスを説明できる。 2. 介護保険制度の成り立ちについて説明できる。 3. 介護保険認定審査制度について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	新井・甘利		
	テーマ	地域包括ケアシステムについて		
	授業内容			

1. 地域包括ケアシステムについて説明できる。 2. 地域ケア会議について説明できる 3. 地域包括ケアシステムでの効果的に多職種連携について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
3	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・飛田		
	テーマ	介護予防における理学療法の実践		
	授業内容	1. 介護予防の目的、対象、制度を理解し、その内容を概説できる。 2. 一次予防、二次予防、三次予防について説明できる 3. ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチについて説明できる 4. 介護予防評価について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	森田・飛田		
	テーマ	急性期や回復期における地域連携パス		
	授業内容	1. 急性期や回復期における地域連携パスが説明できる。 2. 地域包括ケアにおける急性期・回復期病院の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	三浦・甘利		
	テーマ	通所リハビリテーションにおける理学療法		
	授業内容	1. 通所リハビリテーションについて説明できる。 2. 通所リハビリテーションにおける理学療法士の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	森田・甘利		
	テーマ	訪問リハビリテーションにおける理学療法		
	授業内容	1. 訪問リハビリテーションについて説明できる。 2. 訪問リハビリテーションにおける理学療法士の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	三浦・飛田		
	テーマ	入所リハビリテーションにおける理学療法		
	授業内容	1. 入所リハビリテーションについて説明できる。 2. 入所リハビリテーションにおける理学療法士の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦		
	テーマ	地域における健康増進活動、介護予防活動の実践 小テスト		
	授業内容	1. ヘルスプロモーションの概念について説明できる。 2. 地域における健康増進支援、介護予防支援における理学療法の役割について概説できる 3. 小テストの実施 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		出席状況、授業態度および、授業期間内のレポート課題や小テストなどにより、総合的に評価する。また、レポート提出に対しコメントを返す。		
教科書		適宜資料の配付を行う。		
参考書		1. 標準理学療法学 地域理学療法学 第4版 医学書院		

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【担当教員共通】 月曜日 9:00-16:00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 【新井智之】E-mail: arai_tm@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	○授業前日には参考書から該当部分を予習し、授業内容の事前学習を行うこと(予習時間30分、復習時間30分)。 ○症例検討を設けてあり、配布資料を元に小グループでのグループワークとディスカッションならびに発表を行うため、積極的な授業態度や発言が求められる。

講義名	総合臨床実習Ⅰ		
(副題)	専門分野（臨床実習）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	4	時間	180.00
代表曜日		代表時限	
校地	川角キャンパス		
単位数	4単位/180時間		
必修・選択	必修		
配当年次	3年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・高倉 保幸・赤坂 清和・新井 智之・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・澤田 豊・時田幸之輔・森田 泰裕・師岡 祐輔・三浦 佳代・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	患者様の心身機能・能力に関する理学療法士としての検査測定に加えて、健康状態、社会参加の状況、個人の要因など、様々な視点から情報を収集し、問題点・目標の設定およびプログラムの立案と理学療法プログラムの実行という理学療法の一連の過程を臨床実習指導者の監督・指導の下、医療チームの一員として適切に可能な限り補助的に経験する。また体験を通して、必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。
学習の具体的な目標	実習を通して以下の学習目標を修得する。 ①必要な検査・測定を安全・正確に実施できる。 ②実施計画書を作成する。 ③検査・測定の結果を統合・解釈し、生活機能（障害像）を説明できる。 ④生活機能（障害像）から目標とプログラムを説明できる。 ⑤プログラムを体験する。 ⑥効果判定を見学し、結果を説明できる。 ⑦模擬診療録の作成を体験する。
授業計画表	
実習期間：10月20日（月）～11月14日（金） 事後学習：11月17日（月）～11月21日（金） 症例検討会：11月22日（土）	
評価方法	1. 実習期間中の4/5以上の出席により、評価と単位認定の対象とする。 ※実習中に欠席と認めるのは、病気や急引きなどの正当な理由がある場合だけである。 2. 単位の認定にあたっては、出席状況、作成課題、実習目標共有シート（チェックリスト）、実習前・実習後の評価、症例検討会の内容、到達度評価の結果などをもとに理学療法学科内の判定会議にて総合的に判定する。 3. 実習前評価では、臨床実習に参加する上で必要な知識・技術・態度などを評価する。 4. 実習後評価では、実習を通して修得した知識・技術・態度などの到達度を評価する。 5. 必要に応じて学内・学外補習を行う。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	1. 標準理学療法学 理学療法 臨床実習とケーススタディー 医学書院 2. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂 3. 問題解決モデルで見える理学療法臨床思考 文光堂
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 欠席連絡を含め、実習期間中の連絡は川角事務室を窓口とする。 【國澤 洋介】

	月～金曜日の12時10分～13時10分 E-mail : kawakado@saitama-med.ac.jp, kunisawa@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	実習の前には実習に必要な知識・技術について十分に準備・確認すること。実習に対しての具体的目標を設定し、目標が達成できるように努力を怠らない事。また、実習中および終了後には指定された課題を遂行し、要求水準を満たすとともに、提出等の時間を厳守すること。 (予習時間30分、復習時間30分) <履修要件> 1) 3年次に在籍していること。 2) 2年次開講の必修科目の単位を修得していること。 3) 3年次前期の必修科目を履修し、単位認定資格を有すること。 4) 履修する年度の客観的臨床能力試験(OSCE)に合格していること(理学療法臨床入門を参照)。 なお、臨床実習科目の履修については、各科目の履修要件を満たすとともに、これまでの学修状況なども踏まえ、臨床実習に関する判定会議にて総合的に判定します。 <注意事項> 臨床実習に伴う事前指導(ガイダンスなど)、事後学習、および症例検討会は、全て臨床実習の一部であり、臨床現場での実習と同様に評価の対象となる。臨床現場における実習において優れた学習成果を修めても、学内における学習活動に問題があれば単位を認定しないことがある。その他、実習に必要な注意事項については、ガイダンスなどで指導する。